

第13回 多摩大学AL発表祭 レジュメ集

開催日

2021年12月11日(土)

午前の部 10:00~11:40

午後の部 14:00~15:40

会場

多摩大学 多摩キャンパス

会場 001教室・101教室・201教室

参加校

多摩大学

帝塚山大学

東京経済大学

多摩大学目黒中学高等学校

多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校



第13回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭 レジューメ集

目 次

主催者挨拶	1
プログラム	2
2021 多摩大学 AL 発表祭配置図	3
会場座席指定表	7
＜午前の部＞	
001 教室	13
201 教室	22
101 教室	31
＜午後の部＞	
001 教室	40
201 教室	48
101 教室	57
アンケートご協力のお願い	64
スクールバス・路線バスのご案内	65

多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長
金 美德

開会のあいさつ

初冬の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度はご多用のところを多くの方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。多摩大学では開学以来、大学内の机上の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て自らの手と足を動かして活動し、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などのさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行ってまいりました。

一般的に“学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法”と定義されるアクティブ・ラーニングですが、本学が取り組んできた学習体系はまさにその先鞭をつけるものであったと自負いたしております。本学は、「4年間ゼミ」を実施しており、ホームゼミは38ゼミを開講しています。また、寺島実郎学長がご指導されているインターゼミ(社会工学研究会:学生・院生 44名と教員 14名)は、13年目を迎えました。

そして開学以来実践してきたアクティブ・ラーニングをさらに活性化すべく、2016年には「アクティブ・ラーニングセンター(ALC)」を創設しました。ALCでは、ALの研究・開発とプログラムの推進、FD(ファカルティ・ディベロップメント:教員の教育力の開発)、図書・IT・学修サービス、教学マネジメントの推進を行っております。

今年度においても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多種多様なプロジェクト、研究、アクティブ・ラーニングプログラムを展開してまいりましたので、その活動成果を共有する機会として、『第13回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭』を開催いたします。

12月11日(土)開催
2021年度 多摩大学AL発表祭 プログラム
※2部制(午前、午後)

※東京経済大学様は、Zoomでご参加いただけます。

※各発表の所要時間は、発表:10分、質疑応答7分、入替・準備および除菌等:3分といたします。

※コロナ対策のため、参加者は学内入構時に検温を行い、原則、教室移動はお控えください。

※今年度は、コロナ対策のため、午前、午後ともに閉会式は行いません。

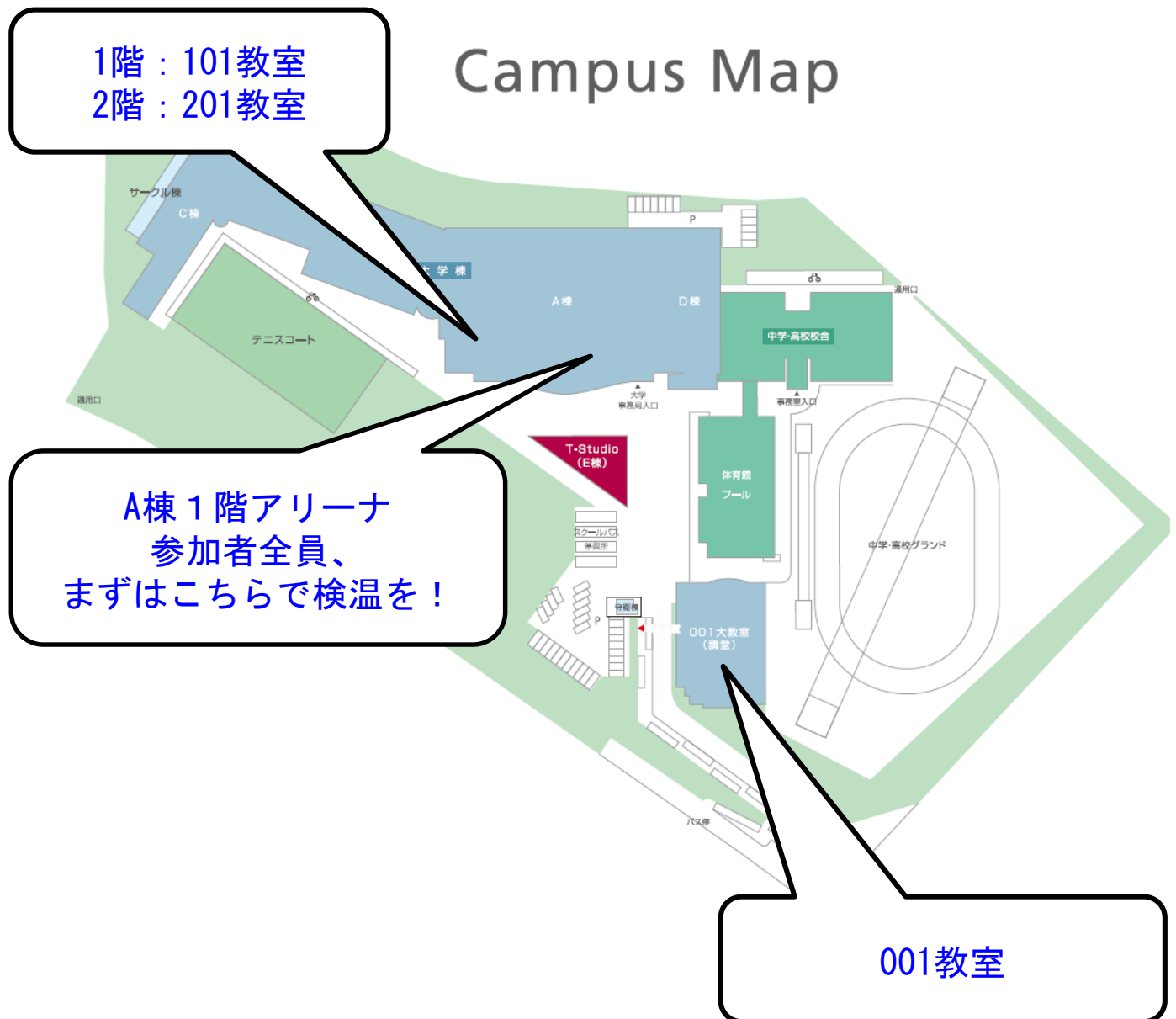
午前の部

会場	001教室(定員:310名)			201教室(定員:127名)			101教室(定員:110名)		
司会・補佐	(司会)高橋 (補佐)加藤			(司会)小西 (補佐)樋笠			(司会)良峯 (補佐)落合		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者
9:00~10:00	検温(アリーナにて)								
10:00~10:10	開会式 多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長 金 美徳								
10:10~10:30	A-1	世代間交流 八王子駅前サロンプログラ2021	梅澤ゼミ	B-1	東経大・小木ゼミによる企業とのコラボ活動 ～園分寺物語、TFT、こんなお菓子あったらいい なPJ、知財活用スチューデントアワード2021～	東京経済大学 小木ゼミ	C-1	多摩地域における住みよい街とは	インターゼミ 多摩学班
10:30~10:50	A-2	全員で環境問題改善！ 使うだけで環境のためになるボールペン	多摩大学目黒高校 起業体験SG	B-2	『ひまわり園での「感動」と新たな「想い出」を持ち 帰る体験を』	飛騨高山AL Bグループ	C-2	海外投資から見る日本の立場	水盛ゼミ
10:50~11:00	休憩(10分)								
11:00~11:20	A-3	倭寇とモンゴル帝国史 ～大陸遊牧民と海洋渡船民～	インターゼミ アジアダイナミズム班	B-3	プログラミングを通して学んだこと	多摩大学目黒高校 プログラミングSG	C-3	フォトジェニックなオブジェクトの提案(着せ替え可 能さるぼぼ)	飛騨高山AL Aグループ
11:20~11:40	A-4	コロナ環境における航空会社の取り組み	多摩大学目黒高校 投資戦略SG	B-4	地域金融機関をつなぐ力	長島ゼミ	C-4	有限会社フレックス パジャマ屋 商品企画提案	プレゼミ X12(葛本)クラス

午後の部

会場	001教室(定員:310名)			201教室(定員:127名)			101教室(定員:110名)		
司会・補佐	(司会)高橋 (補佐)樋笠			(司会)出原 (補佐)加藤			(司会)初見 (補佐)良峯		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者
13:00~14:00	検温(アリーナにて)								
14:00~14:10	開会式 多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長 金 美徳								
14:10~14:30	D-1	プラスチック問題の解決に挑む！ ～法学的アプローチを用いた企業及び個人への 働きかけを目指して～	帝塚山大学 法学部・アドバンスクラス	E-1	コンビニエンスストアの新たな経済・社会的役割 ～暮らしの一部から必要不可欠な存在へ～	インターゼミ サービスエンターテイメ ント班	F-1	これからの地方都市の中心市街地・コンバクシ ンティ	中庭ゼミ
14:30~14:50	D-2	多摩地域優良企業取材レポート体験 活動報告	AL「多摩地域優良企業 取材レポート体験」	E-2	洋服リサイクルプロジェクト	多摩大学目黒高校 起業体験SG	F-2	オブジェクトと発信	AL「飛騨高山」 Dグループ
14:50~15:00	休憩(10分)								
15:00~15:20	D-3	女性の社会進出	多摩大学目黒高校 投資戦略SG	E-3	大規模高齢年団地における入居者の生活スタイル 研究	帝塚山大学 帝塚山×UR団地 連携 プロジェクト	F-3	Instagramのフォロワーをどのように増やすべきか	プレゼミ X09(良峯)・X10(彰藤)ク ラス
15:20~15:40	D-4	DXIによるこれからの社会変化～自動運転とス マートシティ	インターゼミ DX班	E-4	高山市久々野町におけるフォトジェニックの提案 (カメラスタンド)	飛騨高山AL Cグループ	F-4	身近な町のクリーン化から始める脱マイクロプラ スチック	多摩大学附属聖ヶ丘高 校1年生

第13回 2021年度多摩大学AL発表祭配置図(1/4)



第13回 2021年度多摩大学AL発表祭配置図(3/4)

B棟

1F

【2階】 221教室
インターゼミ控室②
午前：多摩学班
午後：サービスエンターテイメント班

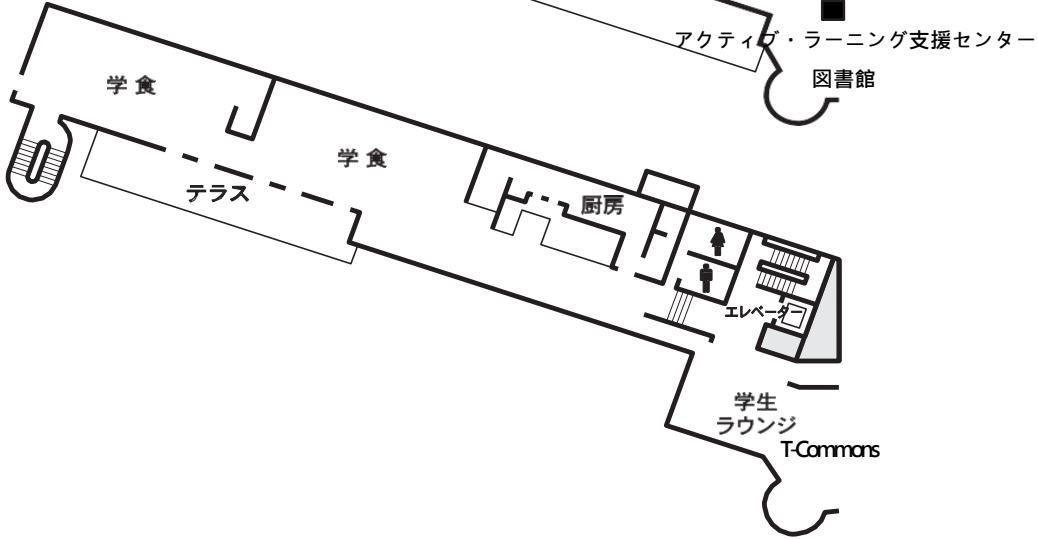
2F

【2階】 211教室
帝塚山大学控室

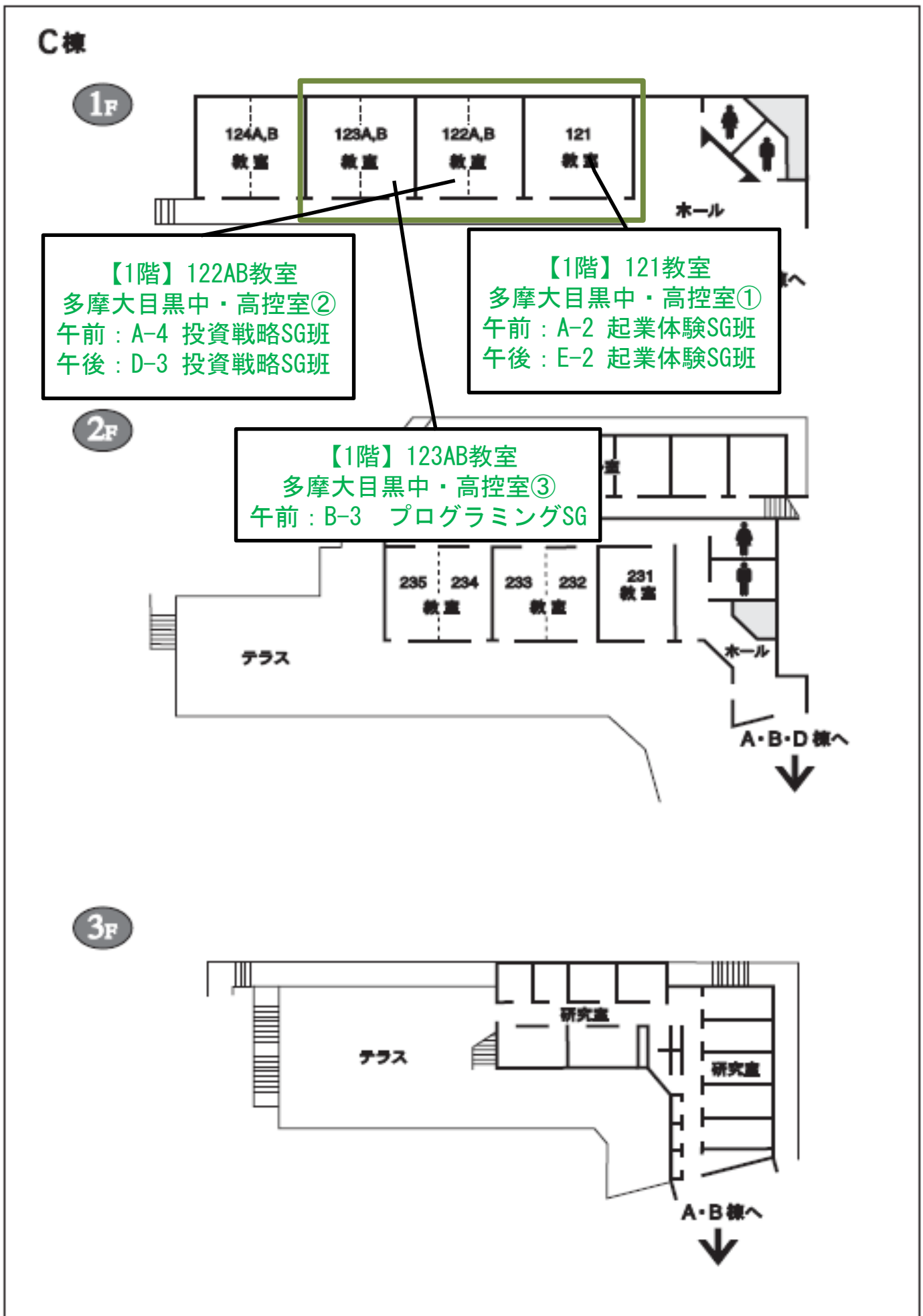
3F

【2階】 212教室
インターゼミ控室①
午前：アジアダイナミズム班
午後：DX班

4F



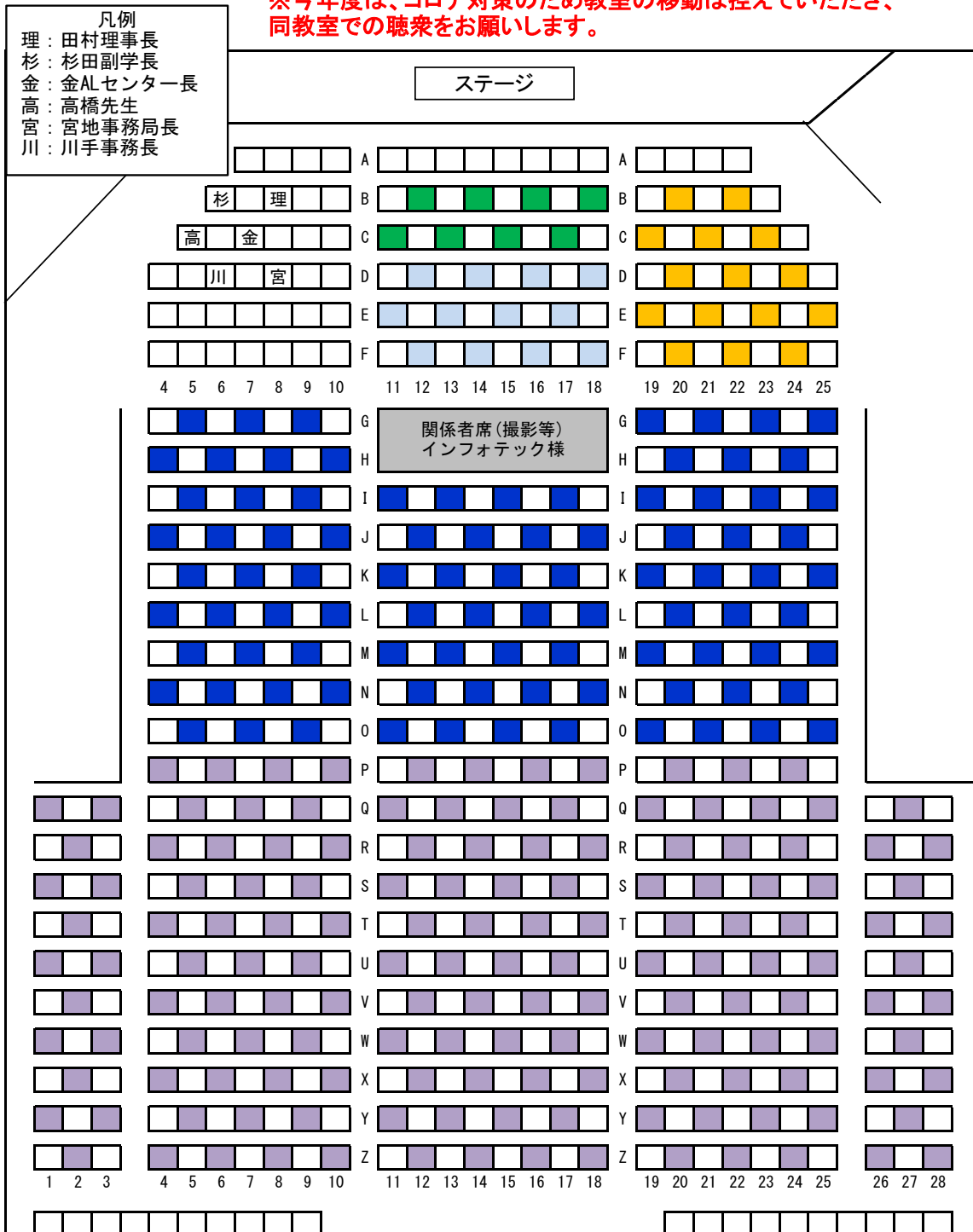
第13回 2021年度多摩大学AL発表祭配置図(4/4)



2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」 【001教室】座席表（午前）

多摩大学多摩キャンパス001教室

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。



- 凡例

 - : 多摩大学目黒中学・高等学校生徒 (91席 : 2クラス)
 - : 多摩大学目黒中学・高等学校教員、001教室発表者 (15席)
 - : 発表A-1
 - : 発表A-3
 - : 聴衆席 (151席)






2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」

【201教室】座席表（午前）

多摩大学多摩キャンパス201教室

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。

		1							2							3					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A			司会		補助																
B			発表者		発表者		発表者		発表B-2		発表B-2		発表B-2		発表B-4		発表B-4		発表B-4		発表B-4
C		発表者		発表者		発表者		発表者		発表B-2		発表B-2		発表B-2		発表B-4		発表B-4		発表B-4	
D			発表者		発表者		発表者														
E		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席	
F			聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席
G		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席	
H			聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席
I		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席	
J			聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席
K		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席	
L			聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席
M		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席		聴衆席	

凡例	
	: 多摩大学目黒中学・高等学校生徒（40席：1クラス）
	: 多摩大学目黒中学・高等学校教員・201教室発表者
	: 発表B-2
	: 発表B-4
	: 聴衆席（47席）

2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」

【101教室】座席表（午前）

多摩大学多摩キャンパス101教

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。

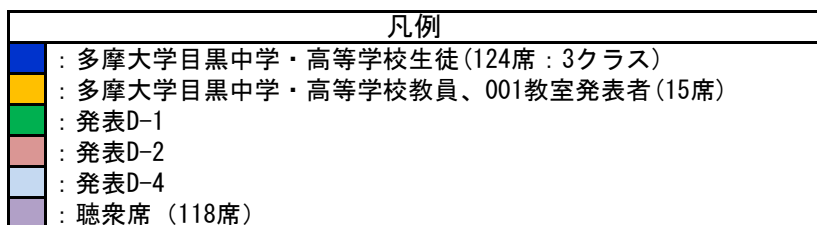
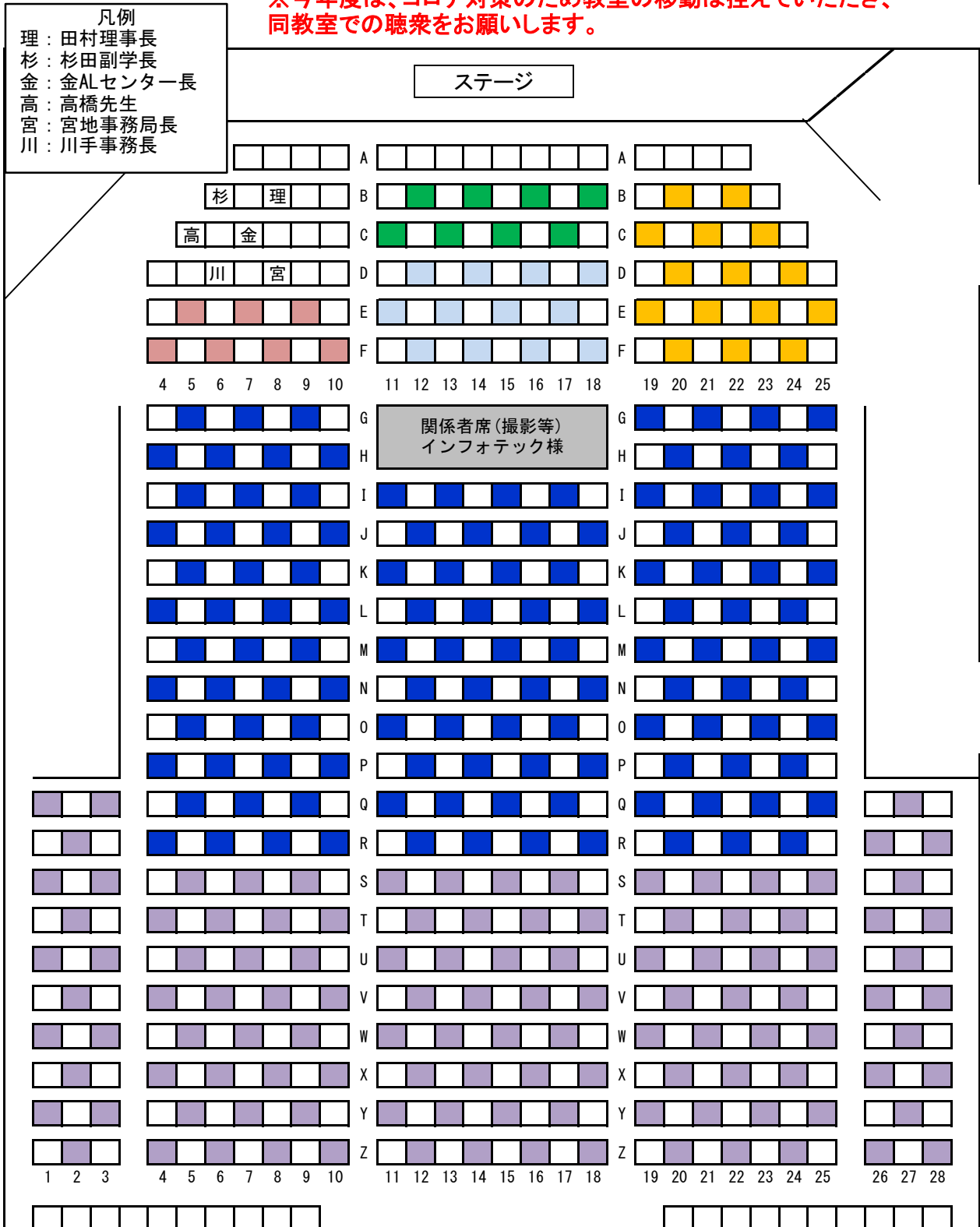
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12		13	14	15	16	17	18	19	
A		司会		補助				A						A								A
B	■		■		■		■	B		■		■		B	■		■		■		■	B
C		■		■		■		C	■		■		■	C		■		■		■	C	
D			■		■		■	D		■		■		D	■		■		■		D	
E	■		■		■		■	E	■		■		■	E		■		■		■	E	
F		■		■		■		F		■		■		F	■		■		■		F	
G		■		■		■		G	■		■		■	G		■		■		■	G	
H	■		■		■		■	H		■		■		H	■		■		■		■	H
I		■		■		■		I	■		■		■	I		■		■		■	I	
J	■		■		■		■	J		■		■		J	■		■		■		■	J
K		■		■		■		K	■		■		■	K		■		■		■	K	
L	■		■		■		■	L		■		■		L	■		■		■		■	L
	1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12		13	14	15	16	17	18	19	

凡例	
■	: 発表C-1
■	: 発表C-2
■	: 発表C-3
■	: 発表C-4
■	: 聴衆席 (74席)

2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」 【001教室】座席表（午後）

多摩大学多摩キャンパス001教室

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。









2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」

【201教室】座席表（午後）

多摩大学多摩キャンパス201教室

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。

		教壇																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A		司会		補助																	
B																					
C																					
D																					
E																					
F																					
G																					
H																					
I																					
J																					
K																					
L																					
M																					

凡例	
	: 多摩大学目黒中学・高等学校生徒（40席：1クラス）
	: 多摩大学目黒中学・高等学校教員・201教室発表者
	: 発表E-1
	: 発表E-3
	: 発表E-4
	: 聴衆席（47席）

2021年12月11日開催 「第13回 2021年度多摩大学AL発表祭」 【101教室】座席表（午後）

多摩大学多摩キャンパス101教

※今年度は、コロナ対策のため教室の移動は控えていただき、
同教室での聴衆をお願いします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
A		司会		補助																A
B																				B
C																				C
D																				D
E																				E
F																				F
G																				G
H																				H
I																				I
J																				J
K																				K
L																				L
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

凡例	
	: 発表F-1
	: 発表F-2
	: 発表F-3
	: 発表F-4
	: 聴衆席（73席）

午前の部
001教室
レジュメ

世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2021 - コロナ禍における新たな取り組み ②

（2016～2021 年度 大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業）

多摩大学経営情報学部梅澤ホームゼミナール

菅原侑士（4年）、小池翼、松本壤弥、山口紗恵子（3年）、岩田柚菜、齋藤純白、徳永賢人、中村優貴（2年）

はじめに

本プロジェクト（以下、PJ と省略）は、学生と八王子市高齢者あんしん相談センター旭町（以下、センターと省略）、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員（以下、民生委員と省略）・協力員、有志、八王子市社会福祉協議会が連携して誰もが参加出来る「駅前」という特徴を活かした高齢者サロンの運営を行うものである。私たちは2016年より4年間にわたり36回のサロンを運営してきたが、新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19 と省略）により、2020年1月を最後にサロンは休止となった。今回はコロナ禍における2つの新規事業、①「駅前サロン通信」の発行と②オンラインによる高齢者サロンの仕組みづくり、オンラインによるサロンの再開についての成果と課題を報告するものである。

尚、これまでの活動については、2016～2020年度AL発表祭のレジュメをご参照頂きたい。

1. 「駅前サロン通信」の発行

2020年1月、対面によるサロンの休止が続く中、4月からコロナ禍における健康二次被害が社会問題になり始めた。サロンに参加して下さっていた高齢者の方々の状況が心配になった私たちは皆様との繋がりを保つことを目的として「駅前サロン通信」を発行し始めた。



「駅前サロン通信」

（1）通信の内容

2020年度の表紙はひと目で季節の移り変わりを感じてもらえるよう季節の花の写真を掲載した。2021年度はコロナ禍でも観光気分を味わってもらいたいと世界遺産を選んでいる。読者からは「行ったことがある!」、「懐かしい思い出が蘇った。」と大学に電話を頂いた。また日付感覚を持って頂けるように表紙下部には「今日は何の日?」を掲載している。一般的な行事・イベントは勿論、語呂合わせなどユニークなものを紹介している。「コロナ禍で病院の予定しかない高齢者にとっては良い刺激になる。」と連携団体の方から好評をいただいている。2ページ

はゼミ生の近況報告と高齢者へのメッセージを記載している。3ページ目は連携団体の皆様に原稿を頂いている。サロンは皆で協働して運営しているので、通信も全員参加で作成したいと考えたからである。内容は連携団体の方々が重要と考える高齢者向けの情報（熱中症予防、コロナ予防等）である。4ページ目は脳トレである。読むだけでなく、頭を使い楽しんで頂けるよう工夫している。

（2）ハガキでの交流

夏は暑中見舞い、冬は新年のご挨拶の手紙を添え返信用ハガキを通信に挟んでお届けしている。これまでに3度、読者の方とハガキで交流した（返信先は大学）。「サロンの再開を楽しみにしている。」という声を多数頂く一方、「外出自粛の影響で体調が悪化し、サロンへの参加は難しい。」といった健康状態の悪化も伺えた。

2. オンライン駅前サロンの実施

コロナ禍において、従来通り若者と高齢者が密に交流する対面サロンの開催は当面難しいということになった。そこで私達は大学で利用している Zoom を用いて大学と八王子の会場をオンラインで繋ぐ「オンラインサロン」を企画提案した。

（1）事業内容

オンラインサロンは、学生は大学から、高齢者はセンターに集まり、2会場をオンラインでつなぎ交流するものである。2020年6月、オンラインによる駅前サロンの企画書、オンラインに不慣れた連携団体の皆様向けの「オンライン利用マニュアル」を作成し提案した。作成するにあたっては、2020年度多摩大学経営情報学部に入学生し、いきなりオンラインで講義が始まった新入生163名を対象に「初めてオンライン会議システムを接続する時に困ったこと」等についてアンケート調査を実施し参考にした。私たちの提案を連携団体側は積極的に受け入れてくれ、社会福祉協議会・センター側はネット環境や機器の準備を進めてくれた。COVID-19の状況が改善したら9月からオンラインサロンを開催する予定だった。ゼミ生は夏休み中にオンラインサロンの機器を準備し、サロンの内容を具体的に煮詰めた。結果的に9月からのサロン開催は難しいということになり、9～11月、連携団

体の皆様と4回のリハーサルを重ね、感想・要望を伺い改善しながら準備を進めた。

2021年11月、緊急事態宣言が解除されたことから約2年ぶりにオンラインによるサロンを再開することができた。オンラインで「つながる」だけでなく「交流」することが重要であると考え、双方でコミュニケーションが取れるプログラム作りを目指した。具体的にはサロン会場に紙とペンを届け、参加者が手を動かして表現する、共有する、交流する等の仕組みである。また参加者の氏名を事前に把握して、一人ひとりの名前を呼ぶように心掛けている。開始当初のオンラインサロンは大学と八王子の2会場を繋いでいたが、現在は各家庭からでもサロンに参加できる仕組み作りで発展させている。11月のオンラインサロンの会場側では、町内で生活しながらも2年近く対面することがなかった高齢者同士、互いに再会を喜び、話しが弾んだ。

(2) 成果と課題

オンライン駅前サロンを実施していく中で、カメラへの視線、表情、声のボリューム、活舌や読むスピード、全体のスムーズな運営等々多くの課題が見つかり改善していった。オンラインでの交流に重点を置いていたので、サロン会場と大学のタイムラグを考慮し、スムーズに交流できるような話しのやりとりのタイミング、シンキングタイムの取り方などを何度もやり直した。毎回、リハーサルを録画し、チェックをすることで改善を進めた。リハーサルで連携団体の皆様から出された要望や指摘は次回までに必ず改善していくことで、内容がブラッシュアップされていき、連携団体の皆様にも好評である。プログラムはゼミ生全員で考え実施している。

3. 企業との連携

オンラインサロンを展開するためには、高齢者が安全に手軽に利用できる仕組みが必要である。そこで私たちは、先ずオンライン接続において懸念される事項と確認事項を連携団体の皆様と消費生活センターに調査した。各々スマートフォンの料金プランや機種が異なることから対応の可・不可が生じてしまうこと、慣れない機器の操作は敬遠されてしまうこと、インターネットへの接続はセキュリティ面（ワンクリック詐欺）が懸念されることが挙げられた。また、スマートフォンでは画面が小さい等の課題がある。

高齢者にとって使いやすい機器・方法はないかと調べ、企業に直接連絡を取るものの相手にされない事が続き八

方塞がりになっていた時、多摩大学と包括連携協定を結んでいる城南信用金庫に相談にさせて頂く機会を得た。その結果、東日本電信電話株式会社と損害保険ジャパン株式会社の2社をご紹介いただき、意見交換を行うことが出来た。また、SOMPO ケア株式会社の介護施設にてオンラインアクティビティの実態についてヒアリング調査をした。介護現場の声を聞く中で、施設に入居する高齢者は要支援1から要介護5までの何れかの認定を受けており、身体的や精神的な障害をお持ちであることから、オンラインアクティビティの実施には、その環境整備や操作性の問題解決が課題であると感じた。一方、比較のお元気な方が入居しているサービス付き高齢者住宅の様な環境においては可能性が有ることが分かった。

私たちはソースネクスト株式会社のオンライン会議専用機「MeePet」に注目し独自に交渉した。その結果、実証実験にご協力いただいている。今回、実証実験で使用している機器は、リモート会議専用端末であることからセキュリティ面の心配がない。また、リモート会議に必要なカメラ、マイク、スピーカーが一体となっているため、これらの機器を別途用意する必要がなく、この機器だけで完結する。操作も単純明快に設計されており、連携団体の皆様も初めてながらスムーズな接続が可能であった。しかし、課題も見えてきたところである。引き続き企業と共に新たな問題の解決策を模索していく。

まとめ

高齢者にやさしいオンラインの仕組みづくりは、サロンに参加できない方々をご家庭から参加し社会とのつながりを築いていくことにも展開できる。在宅高齢者と医療・福祉・介護を繋ぐことにも応用が可能である。今後も連携団体、企業にご協力を頂きながら、高齢者がいつでも・どこでもオンラインでつながり交流できる仕組みづくりとプログラムを追求していきたい。

謝辞

八王子市高齢者あんしん相談センター旭町、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員・協力員有志の皆様、八王子市社会福祉協議会、大学コンソーシアム八王子、八王子市高齢者いきいき課、城南信用金庫、東日本電信電話株式会社、損害保険ジャパン株式会社、SOMPO ケア株式会社、ソースネクスト株式会社の皆様に心よりお礼申し上げます。

※本プロジェクトは第7回「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション」最終選考に中です。

環境に優しいボールペン

【バイオペン】

多摩大学目黒高等学校 起業体験 SG

2年 小野想和/橋本真梨子/清永証人/金森星夜ニコラス

○起業体験プロジェクトとは

自分たちで起業をすることを体験するプロジェクト。便利な世の中で潜んでいる問題を解決するための商品・事業を考えていくことで、新たな気づき、学びにつなげていきたいと考えている。

○ビジネスプランについて

1, プランを思いついたきっかけ・目的

レジ袋が有料になったり、川や海に流れたプラスチックによって魚が窒息してしまったりと、プラスチック関連のニュースが多い。それを見て、私たちはプラスチックがきたしている環境問題を少しでも減らすことはできないのかと感じた。

そこで学生がよく使うボールペンの“インクの量”と“芯”に注目した。必要がなくなり捨てられたボールペンの芯を破棄するために焼却をすることが、環境を少しずつ破壊しているのではないかと感じた。それを改善するために、インクの量をさらに増やすことで捨てられる芯の量を減らし、さらにボールペンの芯の素材自体をもっと環境に優しい素材にすれば良いのではないかと考えた。

このような商品を作ることが出来れば、そのボールペンを使うだけで環境問題を改善することもでき、何か環境問題を改善するような活動をしたいが何をすればよいか分からない人も、そのボールペンを使うだけで手軽に環境問題改善に貢献することができる。また、そのような環境に優しいボールペンが全国で売られることで、環境問題に何も興味がなかった人にも知ってもらえることができる。そしてそれに加え、この商品を使うこと以外に環境問題改善のための行動をする人が今より増えれば良いと感じる。

2, 商品内容

- ・ バイオマスプラスチック(再生可能なバイオマス資源を原料に、化学的または生物学的に合成することで得られるプラスチック)をボールペンの芯に使用
- ・ ボールペンのボディを紙素材にする
- ・ ボールペンの本体そのものの長さを長くし、ボールペン1本のインクの量を増やす

↓

バイオマスプラスチックを使用した商品はかなり高価

↓

まずは企業を対象に販売、今後一般販売化を目指す

3, メリット

- ・ ボールペンの芯にバイオマスプラスチックを使用している点
- ・ 芯だけでなく、ボールペン全体が再生可能な資源で作っている点
- ・ すぐに芯を変えなくても良いように、本体の長さを長くし、大容量にしている点
- ・ このボールペンを使用するだけで、捨てる時に環境への配慮ができる点

4, ターゲット

SDGs や環境問題について興味を持っている、または貢献したいと考えている中小企業

5, 具体的な販売方法や広告方法

- ・ 企業に向けて、インターネット販売を中心に数十個から数百個単位で、ボールペンの芯を含んだ本体、または詰め替え用の芯を販売する。そのとき同時に、この商品の環境問題改善が見込まれるアピールポイントや、会社のコンセプトが書いてある Web サイトをみてもらい、リピートをしてもらえるように工夫する。
- ・ 広告は、企業へ売り出す時点では実施せず、一般販売をすることになった時に SNS 上での広告を実施する。

6, 実現に向けて考えられる課題と対処法

- ・ バイオマスプラスチックを使ってボールペンの芯を作ることができるのか、紙の素材を使用したボールペンのボディを作ることができるのか→工場と提携する
- ・ 一般販売を今後行った際に利益を出すことができるのか→**インクが大容量である利点を生かし、利益につなげる**

倭寇とモンゴル帝国史～大陸遊牧民と海洋渡船民～

2021年度 インターゼミ アジアダイナミズム班

1206年、チンギス・カンがモンゴル高原に建国した大モンゴル国——イェケ・モンゴル・ウルス——は瞬く間に勢力を拡大し、1241年にはポーランド西部のレグニツァに到り、また1274年には九州の北岸、1288年には昇龍ハノイに達した。こうしてモンゴルは既知世界の少なからざる部分を統合した政治体となったのである。しかもモンゴルは商業活動を保護し交通網を整備したため、東西間の交流は以前に比して活潑となった。これは陸上だけに留まるものではない。所謂「中国本部」(China proper)南方の穀物を北方へ運搬するため海上輸送路が整備され、またムスリム商人を仲介とする南方海上の交易がモンゴル世界に結合し、モンゴルの勢威は海上にまで及んだのである。

その後、1368年にモンゴルは北走し、「中国本部」(China proper)は新帝国の明朝の治下に組み入れられていく。とはいえ明朝は保護貿易の基調を強化し、冊封体制による朝貢貿易(Tributary system)が再整備された。その渦中で制定されたのが海禁(maritime restrictions)であり、その結末が互市(overland commerce)へと結びつく。そしてここに倭寇——武装貿易商人——たちの密貿易の素地が築かれたのであった。

特に16世紀の後期倭寇なる人種混淆の民間貿易は、明朝の立場からみれば、朝貢貿易という管理・規制の下での貿易体制を維持しつつも、国内の旺盛な銀需要に対応する銀の流入、経済の安定のために必要なものであったともいえる。そしてそこでは、明朝という国家そのものが祖法の規制と実体の経済という狭間のジレンマに悩んでいたわけでもある。結果として1567年に海禁は解除され貿易が公認されるのであるが、まさにそれは需要と供給による経済が先行し、国家としての対応が後追して判断・整備されていったと言えるのではないだろうか。

翻ってみれば、私たちを取り巻く環境には、インターネット社会・ソーシャルネットワークの整備・拡張があり、2020年の新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、意識改革が加速度的に求められている。国家・民族を越えた個人として、グローバルな社会・世界とどのように繋がり、どのような視点をもって生きてゆくのか、使命や役割を果たしてゆくのか。これは過去の歴史時代にも、現代に生きる私たちにも、共通の意義があるのではないだろうか。私たちは、2017年にはモンゴル帝国史の視界から世界を捉えるため、「モンゴル帝国のユーラシア興隆史」と題して、モンゴル帝国の興隆要因について研究成果をまとめた。また2018年には、2017年のモンゴル帝国の興隆の要因について残された課題を深化すると共に、なぜユーラシア大陸に最大判図を張り巡らせた巨大帝国が衰退の道を辿ったのか、また後世に目に見える影響力を及ぼしていないのかという問題意識を持って、衰退の原因について研究を進めた。そして2019年には、過去2年の調査を踏まえ、モンゴル帝国の覇権下における世界秩序を研究した。2020年には、大きく視点を変え、長大な交通網が招いたペストのパンデミックを見通し現代の新型コロナウイルス感染症流行に対する示唆を得た。そして2021年には、モンゴルが13世紀に東西交流を活性・興隆・繁栄させた時代と、16世紀におけるグローバルな交易が開かれる時代、その間を接続した倭寇を中心に歴史を見通す現代的意義を獲得していく。

わごう
倭寇とモンゴル帝国史
～海洋の渡海民と大陸の遊牧民～

学部生：田中 天野 羽田 山莚
大学院生：三田 谷ヶ崎 北山 森 森田 多田 杉
修了生：光永
指導教員：金美德 水盛涼一

2017年～2020年 論文の結論

2017	「モンゴル帝国のユーラシア興隆史」 総107頁 得られた示唆 1. 「経済連携」による「平和と安定」 2. リーダーの「恩恵」と「視野」
2018	「モンゴル帝国の興隆と衰退」 総244頁 得られた示唆 1. 拡大から縮小過程の生き方、成長だけでは生き方 2. リーダーの素質、素質とガバナンスの低下 3. 祖国という感覚が薄いからこそ世界統一ができたのか
2019	「モンゴル帝国と朝鮮半島」 総84頁 得られた示唆 1. 大帝国の属国でありながらも自らの価値を最大化する立ち回り 2. 柔軟な思考と強固なアイデンティティによる国家（組織）維持
2020	「パンデミックのユーラシア史とポストコロナ」 総118頁 得られた示唆 1. パンデミック発生時における人間の心情・行動変化 2. 現代に生きる日本人特有の衛生観念と気質・文化

3章 日本の国内事情

2.日本から見た倭寇の位置づけ (担当：田中)

分国法 => 日本の当時のモノの考え方が反映している
例えば...「かね目録」の**喧嘩両成敗**。



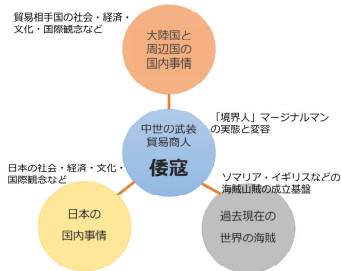
『喧嘩した者たちは善悪を問題せず、両者とも死刑にする。もし相手が攻撃してきたとしても、我慢して、さらに負傷した場合は、被害者側に原因があったとしてもその場を穏便に対処したことに免じて、勝訴とする。』(清水克之『戦国大名と分国法』)一部現代語訳されている

この法からは当時の喧嘩がどういふものだったのか、当時の人々が激情的気質をもっていたのかということが強く反映されている。当時の喧嘩は**知人や縁者を巻き込みで泥沼化**することが多かった。他にも、「連座」や伊達家「塵芥集」の白力救済の考え方から価値観が見えてくる。このように分国法などから**日本人の当時のモノの考え方**を見ていきたい。

2021年のテーマ (モンゴル帝国史5年目)



下記図を基に問題意識を抽出



現代の**保護貿易路線**と**当時の貿易状況**を照らし合わせつつ、過去の**モンゴル研究**を活かし、**倭寇**を研究する

1章 中世の武装貿易商人 倭寇

3.中世倭寇の影響力と爪痕 (担当：森田)

史料に残された記述から推察する中央政府と後世へのインパクト～アウトローが築いた国家のルール

【海賊とのつながりが公に存在していた地域の事例】
中国の詔安県(しょうあんけん)の沿海地域に位置する梅嶺(ばいれい)では密貿易経営を行うとともに海賊勢力とも結びついていた。

なぜこのような地域が存在していたのか...?
詔安県は山や岩で八方塞がりの地域であり、唯一の扉にアクセスできるのは海(海)だけであった。つまり...
山や岩が天然の要塞となり悪人どもの行いを手助けすることにつながった。

郷里で暮らす者たちは、海賊となった親族を助けることなく資金が送られてくることを地域社会の中で得意気に自慢していたという。



https://map.sogou.com/?p=4003100より「詔安県」を検索



詔安県山风景区攻略_万图图吧网より「詔安県」を検索 wantubizhi.com

後期倭寇(16世紀)とモンゴル帝国の繋がり・華僑の初期的存在

北倭 (モンゴル系・オイウト・タタル)	南倭 (倭寇対策)
1429年：南京→北京遷都 1449年：土木の変 オイラト部 エセン・ハンが正統帝を捕虜に 1550年：庚戌の変 タタル部 アルタン・ハンが北京包囲	海禁 ↔ 朝貢貿易 大量の日本銀流入(密貿易) 後期倭寇の要因の1つ 海禁政策は、福建・広東の沿岸沿いの民の死活問題
北国防衛軍費・税の徴収 ～国内『銀』の枯渇～	1567年：隆慶帝(穆宗) 国庫立て直しのため、倭寇とタタル(モンゴル)に貿易を認める柔軟策実施「タタルと和議」「海禁解除、民間貿易認可」
華僑源流	～元末・明代とつながる、華僑の初期的存在～ ①海禁罰則が貿易商人の帰国阻み定住 ②1567年～生活の為に移住(貿易合法化・重税・人口増)
出所：世界の歴史マップ	華僑社会の形成 (東南アジア諸国都市：マニラ・シンガポール、胡蝶屋...)

フィールドワーク：清泉女子大学 桃井准教授

- ✓ 17～18世紀の地中海世界は、ヨーロッパ諸国の関心が、地中海から大西洋やカリブ海、インド洋などに移っていった
- ✓ ナポレオン戦争後の1814から15年、ウィーン会議が開催され、これ以後の国際秩序はウィーン体制と呼ばれるようになる
- ✓ ウィーン体制は、正統性主義・力の均衡・協調外交が特徴であり、その後、列強間で国際問題に関する協議が行われ、北アフリカ海賊の廃絶の決議がされる
- ✓ このような状況下で、1830年にフランスはアルジェを植民地支配、チュニスと条約を締結し、アルジェとチュニスは、海賊の廃絶を明言しなかったものの、実質的には消滅



4章 現在の世界の海賊

現代における海上輸送が拓いたグローバル化と海賊ビジネスが経済に与える影響

現代における海上輸送が拓いたグローバル化と海賊ビジネスが経済に与える影響

出典：外務省・防衛省ホームページ

現代の海賊発生事例件数

2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020

●インド洋 ●アフリカ ●東南アジア

出典：外務省ホームページより筆者作成

生活の安定 ↔ 各国の海賊対策 ↔ 海賊ビジネス ↔ 貧困

悪化する航空業界の業績

～業績良化へ導く道のり～

多摩大学目黒高等学校 投資戦略 SG

1年1組 橘田敬司

1年1組 福田悠桜

1年3組 野澤洸陽

1. はじめに

私たちが投資テーマを決めるにあたり航空というテーマを選んだ理由は、「コロナ禍でとても大きな打撃を受けたから」です。「航空」の分野を問わず業界全体が大きな打撃を受けるなか、注目されているのは、「いかに経費を抑えられるか」ということです。皆さんもご存知の通り、航空機の運用には、多大なコストがかかります。なので、「経費を抑えること」はポストコロナ社会に於いても大きな意義があると思い、このテーマに目をつけました。

課題としては

『航空業界は経費削減を推し進めた結果、サービスの低下・顧客の減少を招く恐れがある。』

という事柄が挙げられます。

例えば、利用客が少ない路線への設備投資を低下させると、顧客の反感を買う可能性があり、結果的に企業の経営状況をより一層悪化させるということです。なので、我々は

『顧客とのつながりを大事にしつつ、経費削減を行うことが経営良化につ

ながるポイントである』と考え、企業を選定しました。

2. 投資テーマ

『悪化する航空業界の業績～業績良化へ導く道のり～』

3. 日経 STOCK リーグについて

日経 STOCK リーグは、学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画されたコンテンツ形式の金融・経済教育プログラムです。2021 年度で第 22 回を迎えます。「どんな企業の株式を買うか？」について考える中で、社会にはさまざまな種類の産業があることを学び、それぞれが互いに関連しながら経済・社会生活を支えていることを学びます。さらには、株価の動向を予測しようとする中で、景気の善し悪しとは何なのか？政府が景気に対して果たす役割とは何なのか？などをグループで考えます。そういったことを「株式投資」といったツールを使って学んでいくのが「日経 STOCK リーグ」です。

4. 選定した企業

- ・日本航空株式会社
- ・三井物産株式会社
- ・佐渡汽船
- ・株式会社スターフライヤー
- ・株式会社近鉄エクスプレス
- ・株式会社住友倉庫
- ・三井倉庫ホールディングス株式会社
- ・日本通運株式会社
- ・名港海運株式会社
- ・三菱重工株式会社
- ・川崎重工株式会社

5. 選定基準

- 1, まず、グローバルにビジネスを展開させている企業を選定しました。
- 2, 次に、先程上げた条件に加えて環境保全への取り組みを実施している企業を選定しました。
- 3, 最後に、上の 2 つの条件に加えて、顧客とのつながりを大切にしている企業を選定しました。

午前の部
201教室
レジュメ



小木ゼミのプロフィール

「マーケティング・広告・プロモーション」
～企業コラボと個人研究で圧倒的な就職力の獲得～

個人研究 (1:33での批判討論)

批判的精神 + 論理的思考 + ディスカッション力

- 「土壌汚染の減少」
- 「労働者増加に向けた一考察」
- 「食品ロスの抑制」
- 「医療費負担の軽減」
- 「空き家数減少」
- 「建設産業供給量増加に向けた一考察」
- 「農家人口減少の抑制」
- 「再生可能エネルギー普及に向けた一考察」
- 「介護職における人材不足の解消」
- 「国内生乳生産量増加に向けた一考察」
- 「地方の医師不足解消」 等

ゼミ生数：34名
男：10名
女：24名

2.3年生 25編 / 4年生 9編

小木ゼミの活動概要

- ①個人研究
- ②就職支援活動
- ③企業コラボ
- ④各種イベント活動



【これまでの主な就職先】
日本銀行(2人)、みずほ銀行・証券(8人)、楽天、キーエンス、三菱食品、リクルート、アスクル、スズケン、マルハニチロ、日経広告社、井田コーポレーション(CANMAKE)、セコム(2人)、ノジマ、OBC、久光製薬(2人)、良品計画、西川産業、大東建託、一条工務店(2人)、タカラスタンダード、大塚商会(6人)、地銀(常陽、足利、群馬、八十二、東邦、百十四、富山等)、信金(西武信金、たましん、青梅信金)、オリコ(2人)、ランドスケープ、ユニアデックス、WIZ、各市役所、学校教諭、自衛官幹部、東経大職員、大学院進学(3人) ⇒ 一橋大学准教授、愛知学院大学准教授 他多数

企業とのコラボ活動 (サブゼミ)

- 地域活性化：Nipponia Nipponとのコラボ**
●「国分寺物語」の企画・運営・制作
- 国際貢献：Table For Twoとのコラボ**
●東経大生協でのTFT健康ランチ企画・販売
- 新商品開発PJ：鈴木栄光堂とのコラボ**
●こんなお菓子あったらいいなプロジェクト
- 知財活用スチューデントアワード：主催 西武信用金庫**
●大手企業等の開放特許活用による商品アイデア創出

企業コラボ①：国分寺物語

小木ゼミ×Nipponia Nippon

- 国分寺や東経大・小木ゼミの魅力を広めていく。
- 国分寺ゆかりの方々に取材をすることで、目に見える魅力に以外に様々な「物語」を掘り出し、地域活性化を狙います。



Webサイト「国分寺物語」で情報発信！

- 国分寺の魅力を写真とともに掲載
- FacebookとInstagramに投稿

🔍 「国分寺物語」で検索！

小木ゼミ×Nipponia Nippon

こくベジ普及活動

- 国分寺市の農業と畜産物の素晴らしさをPR
- 国分寺の地場野菜を広めることで地域活性化を目指す

小木ゼミの取り組み

- ・学祭でのこくベジの販売
- ・地域の交流イベントの参加
- ・清水農園さん見学
- ・こくぶんじ写真コンクールの審査など

🔍 「こくベジ」で検索！



小木ゼミ×Nipponia Nippon

ぶんさんウォーク2021 タウン代表者会議に参加

- 国分寺市で10日間開催される
国分寺市の魅力発見イベント
- イベント代表者会議参加



カフェローカルに 国分寺物語として参加

- 国分寺を議題に月の最終金曜日に
市民の方とディスカッション
- 幅広い価値観を感じられる



企業コラボ②：TFTランチ企画・販売

小木ゼミ×Table For Two×生協

「発展途上国の飢餓」と「先進国の肥満の解消」を同時に行う運動

生協で購入してもらうと一食につき20円が
Table For Two を通じて発展途上国に寄付



#おうちTFTプロジェクト

計11食のヘルシー料理を投稿



22食分の給食代に

TABLE FOR TWO
University Association

※1投稿につき給食2食分(40円)の寄付

販売実績

ふわとろオムライス、俺の鶏丼、ぶつた丼、パジトマディーナwithB肉盛! ~失礼いたしました。ナムルと温玉も添えてしまいました。~ソースが選べる! チキンステーキ丼、豚キム食べてムッキムキ! 豚キムチ丼

小木ゼミ×Table For Two×生協

2021年度 前期
大学生協
販売メニュー 販売期間：①7月5日～7月9日
②7月12日～7月16日
価格：各500円(寄付額20円)

New! ①よくばりキンパ丼

②とろ〜り卵のネギトロ丼



小木ゼミ×Table For Two×生協

【2021年度 前期の販売実績】



メニュー名	販売期間	販売価格	出食数	寄付金額
選べるトッピングキンパ丼	7月5日～7月9日	500円	713食	14,260円
とろ玉ネギトロ丼	7月12日～7月16日	500円	146食	2,920円
合計			859食	17,180円

詳しい活動内容は
小木ゼミTFTの
Instagramアカウントで!



小木ゼミ×鈴木栄光堂×JA東京むさし

一昨年の最終プレゼンの様子



鈴木栄光堂のグループ各社に
「お菓子の新商品企画」を提案するもの



過去には
商品化したお菓子も!



国分寺の
「ブルーベリー」を使用した
お菓子の提案
夏休みに4チーム、計14商品を提案



来年の秋冬に販売することを目標に
現在「2商品」について検討中!

企業コラボ④：知財活用スチューデントアワード

小木ゼミ×西武信用金庫

- 大手企業が開放している特許を活用する
- 学生の商品アイデアを発表するアワード

学生の目線から
これまでの市場にない斬新なアイデアを出し合う



生体・活動認識機能を搭載した
実用型ウェブカメラ

オフィスログを活用した
在宅医療ケア

ひまわり園での「感動」と新たな「思い出」を持ち帰る体験を

飛騨高山 AL プログラム B グループ

4 年： 佐保 尚寿

2 年： 寺垣 美南

2 年：羽田キッティパッド

1 年： 木村 優宏

◆ 本プログラムの内容

岐阜県高山市と多摩大学の産学連携プログラム。

今年のテーマはオブジェを用いた「インスタスポットづくり」である。SNS を活用した地域活性化に着目し、地域資源や魅力を学生目線から発見し、新たな久々野地域の可能性について提案を行う。

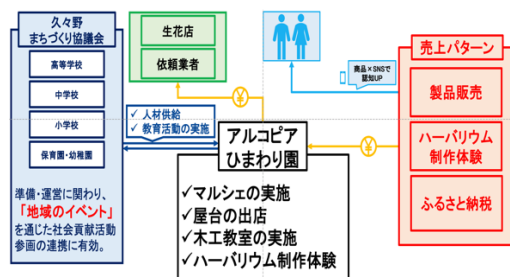
◆ 本グループの活動

【春学期】

毎年、久々野地域で実施されている「アルコピアひまわり園」から、ひまわりの二次利用に着目。ハーバリウムの制作体験を通じた、『「思い出」を持ち帰る』オブジェを提案。特に、制作体験の過程にストーリー性が強く、SNS 映えという観点でも効果があると期待。



【zoom での意見交換】



【制作体験を通じたビジネスモデル】

【秋学期】

久々野の方々から、春学期の活動に対するフィードバックを受け取り、春学期の提案を実現するための問題解決にとりかかる。また、制作体験だけではなく販売における実現可能性を現地に赴き考察。現地と机上のギャップを再認識。

【ひまわり園の会場視察】



【販売場所候補：八幡神社例祭】

◆ 本プログラムの学び

私は、本プログラムに初めて参加した。本プログラムは、一年を通じた産学協同プログラムであり、例年ならば春と秋、現地に赴いての活動を予定していた。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、昨年同様秋のみの現地視察となった。本プログラムの活動当初は、春に伺うことができないことをマイナスに捉えていた。しかし、振り返ってみると意外にも良い効果があったと感じている。その効果とは、「ギャップ」の認識である。私たちは、春の提案を机上で考え、如何に効果があるか、如何に価値があるかを述べた。その時点で、この提案を押し通したいと強い思いがあった。秋、現地に伺ってギャップを感じたと共に、実現は可能であるとも感じた。春に久々野地域に伺っていたならば、自分で感じた久々野の範囲内でしか提案が行われなかっただろう。その後の現地視察では、常々ギャップを埋める方法を思索した。年内での実現は叶わなかったが、本提案の粗を削っていくことで、久々野地域にとっても価値あるものになると考える。(執筆：羽田)

プログラミングを通して学んだこと

多摩大学目黒高等学校

加藤菜々・坂本颯矢斗・鳥居海斗・村山寛明

興梶咲也花・野崎美羽・端山耕太郎・原田威治

1. プログラミングに対する印象

1.1 野崎

プログラミングをやる前は、わからない文字がたくさん並んでいて難しそうという印象でした。プログラミングをやってみて、わからない文字だと思っていたものがプログラミング言語だということを知り、数学と近いものなのかなと言う印象を受けました。

1.2 鳥居

プログラミングを最初はどんなタイピングなのだろうかと思っていたが、プログラミングは数式を書くために、英語と記号を打ち込んで、式として成り立つようにしていくものだと知りました。数学を学ぶ意味を知ることができました。プログラミングだけでなく、数学にも奥深さを感じました。他にもいろんな数式を書けるように数学を学んでいこうと思いました。

1.3 原田

参加する前はただ適当に言語並べるだけだと思っていました。

プログラミング SG に参加してからは思ったよりも難しく、自分にプログラミングが合っているかを知りたい機会だったと思いました。

1.4 端山

プログラミング SG に参加する前

- ・複雑で専門的な知識がないとできない
- ・難しい文字が沢山並んでいる

プログラミング SG に参加した後

- ・数学の公式の解き方に似ている
- ・複数の表記の仕方がある
- ・関数を主に使う

2. PG BATTLE 2021 に参加したことを通して

2.1 はじめに

今回、私達は PG BATTLE 2021 に参加しました。初めての参加やコロナ禍によって、あまり活動出来なかったということもあり、一筋縄では解けない問題が多くありました。本プレゼンテーションでは、今回参加した PG Battle 2021 の問題の中から 2 問ピックアップし、4 人で導き出した解決策を発表します。

2.2 物理グラフィックバトル

本節で扱う問題は、ましゅまろの難易度 1 である「物理現象グラフィックバトル」です。問題文は以下の通りです。

底面積 $X[\text{cm}^2]$ で高さが $Y[\text{cm}]$ 、重さが $K[\text{g}]$ である円柱があります。

これを、円柱の底面と水面が平行になるように水を浮かべると、下から $\frac{K}{X}[\text{cm}]$ の部分が水に沈みました。

このとき、円柱の水面より上に出ている部分の高さは何 cm ですか？

問題文中の X, Y, Z にどのような数字を代入しても、求められるようなプログラミングを作成することが求められていることが「物理現象グラフィックバトル」の問題です。問題文からわかるように、今回求めたい値は、円柱の高さ $Y[\text{cm}]$ から水に沈んだ長さを引いた値です。

このことを、式として表すと $Y - K/X$ となります。この式がわかったので、次はこの式をプログラミングに入力していきます。まず X, Y, Z があるとプログラミングに伝えます。このとき、プログラミングでは `int(input())` と入力します。すなわち、

```
x=int(input()) y= int(input()) k= int(input())
```

となります。

プログラムに対して、 $Y - K/X$ を計算し、出力して

欲しいので、「print(Y -K/X)」と入力します。これで式としては完成です。しかし、この式を使うとき

3
5
8

と縦に打たなくてはなりません。

今回の問題は横向き打てるようにしなくてはなりません。横向きにするために map() と split() を使うと、

```
x=int(input()) y= int(input()) k= int(input())
```

と入力していたプログラムが

```
X,Y,K=map(int,input().split())
```

となります。あとは同じように print(Y -K/X) を使います。

横向きにしても成り立つかどうか確認し、これで完成です。

最後に、完成した提出をして「物理現象グラフィックバトル」の問題は終了です。

2.3 7番勝負

本節では、PG BATTLE 2021 のせんべいの難易度2「7番勝負」について解説します。問題文は、以下の通りです。

高橋君と青木君は腕相撲で7回行うことにしました。

それぞれの勝負では、高橋君がPパーセントの確率で青木君に勝利します。ここで、他の勝負の結果が確率に影響することはありません。また、引き分けは存在しません。

このとき、高橋君が7回の勝負全体で勝ち越す確率が何パーセントであるかを求めてください。

この問題は、数学の確率の問題をプログラミングにどのようにして書き起こすかという問題です。また、確率P (%) に対して、どのような値を代入しても成り立つようにしなければなりません。

したがって、この問題文を数式に起こしていきます。高橋君が勝ち越す場合は、高橋君が4回、5回、6回、そして7回勝利する場合です。このことを数式に起したら、プログラミングに書き起こします。

まず、P が変数であることを表すために、input を使うことによって

```
p=int(input())
```

と書き起こします。

次に、p/100 や 1-p/100 はプログラミングが長くなるので、別の文字によって書き表します。すなわち、

```
q=(p/100)
```

```
r=(1-q)
```

とします、

最後に、これらをプログラミングの式として書き起こし、出力します。ここで、累乗の X^Y は $(X**Y)$ と書き、 $X \times Y$ は $(X*Y)$ と書くことに注意すると

```
print((35*q**4*r**3+21*q**5*r**2+7*q**6*r+q**7)*100)
```

となります。

以上のことをまとめると以下のようになります。

```
p=int(input())
```

```
q=(p/100)
```

```
r=(1-q)
```

```
print((35*q**4*r**3+21*q**5*r**2+7*q**6*r+q**7)*100)
```

プログラミングは組み終わりました。最後に、このプログラムが正しく機能するかを確認し、完成です。

2.4 感想

第1に、プログラミングには数学がとても重要であるということを実感しました。数学がわからなければ、問題自体が解けません。

そして、仮に数式が出来ていたとしても、その数式をプログラムとして入力できなければなりません。大学へ進学後にも、数学とプログラミングの両方を学んでいきたいと思います。

次に、私たちよりも年下の中学生達が同じ問題を同じ制限時間で解いていたことに対して凄いと感じました。

私たちにとって、問題は難しかったですが、4人で考え、解けたときの達成感はとても大きかったです。今回、PG BATTLE に参加して良かったと思います。

次回、参加する機会があるときにはもっと練習し、良い結果を残せるようになりたいです。

地域金融機関最新事情
～オンライン交流ラボ～

担当：ながしまゼミ
3年 松永怜士
2年 坂下元太

1. 活動のきっかけと目的

きっかけ

・コロナ禍やインターネット時代を迎える中で、全国の地域金融機関は似たような課題を持っています。その中で横のつながりを作り、他の地域金融機関が行っている良い部分を共有していくことが重要だから。

目的

・コロナ禍によって、様々なことがオンライン化している中で、「他の金融機関はどのような工夫をしているのか?」「こういうことしたいけどわからない」などの疑問を ZOOM 上で共有して交流することで解決へのヒントを見つけるため。
・リアルタイムの金融機関の課題や取り組みについて、各金融機関の実際に現場で課題解決に向けて取り組みを行っている方々による、ディスカッションをするための場。

2. 活動について

概要

オンライン交流ラボは、ながしまゼミつなぐカプロジェクトの1つとして活動している。

つなぐカプロジェクトとは、学生がチームを組み1から企画を考えて、計画を立てながら運営、実行までを行うプロジェクトのこと。企画を通して**プロデュースカ**をつけることが最大のテーマ。現在 **11** プロジェクト進行中!

当日の流れ

はじめに、各回のテーマについて1つの地域金融機関に話題提供をして頂く。その話の中で出た質問を ZOOM 上に集まった地域金融機関の本部で働いている行員・職員がディスカッションする。

また、事前にアンケートを取っているのでアンケートから各金融機関の現状についてお話ししていただくこともある。

企画の流れ

- ① キーノートスピーチをして頂く地域金融機関を決める
- ② プロジェクトの説明をして、その地域金融機関の現状を知る
- ③ 共同研究している企業とチラシ制作
- ④ 当日のテーマについて事前に研究する
- ⑤ 事前アンケートを取る
- ⑥ 企画当日！→学生が司会進行及び運営を担当
- ⑦ 開催後アンケートを取り報告書を参加者に送る

3. 活動の実績

第1回	川崎信用金庫	オンラインで事業支援	12名
第2回	東京東信用金庫	コロナ禍でのお客様組織化	12名
第3回	平塚信用金庫	事業承継の最新事情	15名
第4回	多摩信用金庫	コロナ禍における創業支援	10名
第5回	さわやか信用金庫	財務面からの中小企業支援	8名
第6回	横浜銀行	横浜銀行による神奈川県地方創生	9名

4. 活動を通じてどのような学びがあり、どのような力がつくのか？

企画力、実行力

流れのところでもあった通り学生が1から10まで企画を組み立てることができる。はじめは、ただ会を開催することに必死でテーマについては考える優先度が低かったが、企画を重ねるごとに参加者はどのようなテーマを求めているかを現状の地域金融機関の課題やその地域の特色を考えながらテーマを考え運営していけるようになる。テーマを理解しながら運営することによって回すことに必死にならず、内容に対して入り込めるようになり司会しながら質問をできるようになるなど主体的に会に参加できる。

計画力

企画の段取りも学生が主体となって取り組む。地域金融機関の担当者とメールや電話など窓口係を経験することで、学生が如何に企画の計画スピードが遅いかを実感できる。はじめの頃は直前に色々詰め込みながら行うことをしばしばあった。オンライン交流ラボの場合は開催の2ヶ月前から準備をしている。また企画の一連の流れをスプレッドシートに落とし込み、いつまでに何をやるかメンバーと共有して日程調整を行うなどの工夫もするようになった。

→ここであげたものに加えて社会人基礎力の全般が身につく！

午前の部
101教室
レジュメ

2021 年度インターゼミ 多摩学班

「多摩地域における住みよい街とは一地域のネットワークー」

執筆メンバー

[多摩大学 経営情報学部・グローバルスタディーズ学部]

白井 ほのか、加藤とまむ、神尾 正紀、坂本 堅辰、細川 拓海、
田中 彩佳、野中 柊希、堀井 瞳来、木村 優宏

[多摩大学大学院 経営情報学研究科 修了生]

菊永 泰正

[指導教員]

内藤 旭恵、落合 孝彦、長島 剛

1. 研究対象と研究範囲



本研究における研究範囲は、東京都西部 30 市町村とする。市部の人口は 430 万 1518 人（2021 年 10 月 1 日現在）であり、東京都の人口の 37% を占める大都市郊外地域である多摩ニュータウンを筆頭に高齢化が進んでいる。また、新型コロナウイルスの影響により、都市郊外への移住の動きが全国的に進んでおり、本学が立地する多摩地域においても自治体で転入超過の傾向にある。そのため、今後多摩地域の人口が予測に反して増加する可能性もあり、10 年後を見据えた地域の課題発見、解決に向けて再考した。

2. 研究背景とリサーチエスチョン

多摩地域をとりまく課題意識から、10 年後、「住みよい街」にするにはどのような開発目標があるべきなのかを今年度のリサーチエスチョンの軸とし、多摩地域の独自性を踏

まえた上での「住みよい街」とは何かを考えた。

3. 幸福度ランキングの研究手法

近年、住みたい街や地域別幸福度ランキングが様々な団体から発表されている。中にはアンケートによる印象調査などのランキング調査もあるが、その中でも各種の指標分析からランキングを導き出している、日本総合研究所発行の「都道府県幸福度ランキング」から、幸せな地域における要素の分析を行った。

4. 多摩地域における5分野の現状と課題および解決策

住みよい街の条件を「都道府県幸福度ランキング」より5つの分野で分析した結果、健康では、高齢者と障がい者、2つの調査を行い、健康寿命の促進に向けた高齢者のコミュニティが繋がる仕組みは自治体によって構築されているものの積極的参画ができていないことが課題であること、障害者が社会参画するためには、障害者の現状を知り存在を認め合うことが必要であることが分かった。文化では、人が交流する空間が必要であり、交流を活性化するカンフル剤としての文化的建造物の活用が必要であることが分かった。生活では子育てと防犯、2つの調査を行い、子育てではSNSの関係性から対面で無理なく悩みと不安を共有できる環境づくりが必要であること、防犯では、交通、犯罪ともにコミュニティをつくり事前に予防に努めることが必要であることが分かった。教育では、新しい知見の取得や次のキャリアのため学習活動に意欲的な高齢者に対して、大学を活用した「学びの循環」を促す学習活動の提供が必要なことが分かった。仕事では、立飛ホールディングスのような地域に密接し積極的に地域貢献を行う企業が必要であることが分かった。

5. 結論

5分野の共通課題から、解決には人同士のつながりとネットワークが住みよい多摩地域において重要であることがわかった。人との交流には職場、教育機関といった、組織に属することで生まれるネットワークが土台としてあり、さらに住民や共通の趣味や境遇を持った人同士のつながりを促進できると考えられる。

後者においては、公民館等のイベントが主催されるなか、それらの既存のコミュニティへ容易に辿り着けることのできる、ネットワークの整備が必要である。

以上

海外投資から見る日本の立場

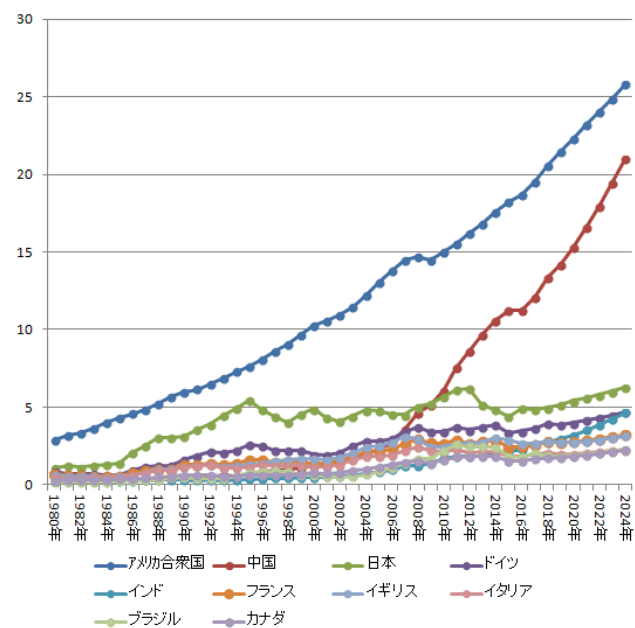
水盛ゼミナール 2021 年度アメリカ大陸班

日本はかつて世界一の商業国家として名を馳せていた。ヴォーゲル (Ezra Feivel Vogel) は 1997 年に『日本第一：アメリカへの教訓』 (Japan as Number One: Lessons for America) を出版し、停滞するアメリカへ警鐘を鳴らしている。その中で日本資本 (Japan Money) による「アメリカ買い」も進み、三菱地所がロックフェラーセンターを、またソニーがコロンビア映画を、そして安田火災海上がゴッホ作「ひまわり」を買い、アメリカでのジャパンバッシング (Japan bashing) に「燃料」を加えたのであった。とはいえ、バブル景気が破裂し、その後の経済政策にも失敗し、「失われた十年」 (Lost Decade、今はそれが「失われた二十年」lost twenty years、「失われた三十年」lost thirty years などと延長して呼称されている) が到来すると、日本企業の体力は失われ、リストラ (restructuring) の嵐が吹き荒れたために企業人材のモチベーションやポテンシャルも下降していった。

ちょうどその頃にはアメリカが IT 技術を中心として経済回復を遂げ、また中華人民共和国の伸張もめざましく、2010 年には日本を抜いて国内総生産世界第 2 位となり、現在は日本の 4 倍弱にまで成長したのであった。日本の「ナンバーワン」であった時代が過ぎ去ったからこそ、外国企業に学び、国際協調路線のなか、グローバルビジネスを推進しつつ、日本のビジネスを強化していく必要があるのである。

もちろん日本の企業もまた年々成長しているものの、世界の企業間競争は激化している。しかも物流網の整備により、世界はより身近になっている。サプライチェーン (Supply Chain) とは、製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体的な一連の仕組みであるが、多くの日本企業にとっても、このサプライチェーンは世界に広がるものとなっている。また、自由貿易圏 (Free Trade Area) の整備により、自国の産業を護る「関税障壁」 (Tariff Barriers) も消失しつつある。すなわち、他国の企業が重要な競争相手にも協力提携先にもなりえる時代となったのである。今般こそ新型コロナウイルス感染症 COVID-19 のため各国の経済的連携は薄れているが、ワクチンが完成する来年そして再来年の状況を鑑みれば、今まで以上に外国企業の動向への注視が必要となっている。そこで本班は主にカナダ王国の現況に鑑み、国制や多文化主義、そして脱炭素社会という大きな目標のなか今後有望な業種などに目をむけ、日本企業による海外投資の一環という立場にたって国際経済を分析していくものである。

主要国名目GDP
(米ドルベースで2020年時点の上位10か国、IMF予想含む、兆米ドル)



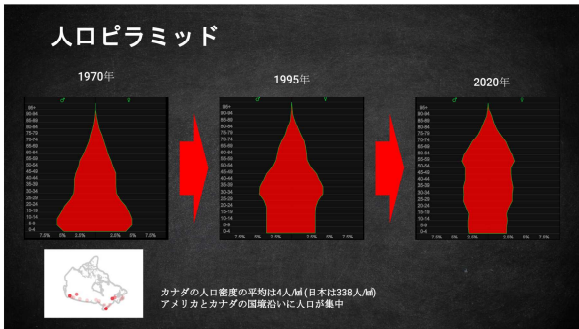
1. 基本情報




A Mari Usque Ad Mare
海から海へ

シェールガス革命

【シェールガス革命】
元々抽出困難だったシェール層から石油や天然ガス等の抽出が可能になった。これにより世界のエネルギー事情が大きく変わったこと「シェールガス革命」と呼んでいる。
シェールガスとは太古の海や大河で死んだ水中プランクトンや藻類などの有機物が、死後に沈殿し、蓄積し、バクテリアによる分解時に出るガスで、地球にやさしい。



PDAC-カナダ鉱物開発協会



鉱物産業719,000人の雇用を支援する団体
 > 約12兆円をカナダ政府へ寄付
 > 毎年世界最大の鉱山トレードショー開催
 > 数多くのイベントを開催


【事業内容】
 > 高い競争力・責任・持続可能な鉱物開発の促進を目標に鉱物産業を支援
 > 持続可能な鉱物開発

国民国家 -nation state-

【国民国家】(デジタル大辞泉より)
 1. 民族国家—歴史的、文化的に形成された、民族を基盤としてつくられた近代国家。
 2. 国民を主体としてつくられた国家。市民社会を基盤としてつくられた国家。

【nation-state】
 1. A form of political organization under which a relatively homogeneous people inhabits a sovereign state. Especially a state containing one as opposed to several nationalities. (Merriam-Webster)
 2. An independent country, especially when thought of as consisting of a single large group of people all sharing the same language, traditions, and history. (Cambridge Dictionary)

カナダの鉱物資源



世界トップクラスのウラン探掘国
日本は使用済み核燃料をカナダへ送る計画が存在している

- > 亜鉛
- > ニッケル
- > ウラン
- > モリブデン
- > 金
- > リチウム
- > 銅
- > ニオブ
- etc.




世界屈指の鉱物資源大国であるPDACの存在、偉大!

世界は半導体ショックからエネルギーショックへ

【中国の動向】
 > 中国では景気回復を伴う工業生産の拡大などを背景に石炭の供給が高騰
 > 中国の電力発電7割が石炭

【習近平の脱炭素社会2060年の公約】
 > グリーンエネルギーである天然ガスの需要増加
 > 中国は大然ガスの国内消費の4割強を輸入に頼っている。

日加相互関係を生める鉱物探掘機器メーカー

日本	カナダ
 <p>三菱重工業 ・国内採山の衰退から採掘内を先行する重機の売り上げが減少 ・東ヨーロッパ・ロシア等企業買収の強化からなる拡大</p>	 <p>・より高性能な技術による鉱物大量採掘の効率を高める ・脱炭素社会に対応した鉱山事業の拡大 ・中国企業参入の阻止(制裁) ・日本との貿易の強化</p>
 <p>日立建機 ・1988年以降の提携関係を解消 ・米大陸を域で独自の販売・サービス網を構築</p>	

飛騨高山アクティブ・ラーニングプログラム 2021

～着せ替え可能オブジェクトの提案について～

A チームメンバー：神尾・長田・堀井・城田

<飛騨高山アクティブ・ラーニングプログラムとは>

多摩大学では、2017年度より岐阜県高山市久々野町にある久々野まちづくり協会と一緒に地域活性化問題について考え、学生目線から毎年地域活性化に繋がる提案を行っている。毎年、年に2回(春・秋)に実際に高山市に訪問させていただいており、2021年度で5年目を迎えることができた。今年度は新型コロナウイルスの影響により、春学期はオンライン上でつながりミーティングを行った。

今年度は、「久々野地域で誰もが思わず写真を撮り、SNS等で発信したくなるようなフォトジェニックスポットづくり」をテーマに、学生から提言を行った。久々野町内にある豊富な観光資源を最大限に活かすために、地元の中学生達と一緒に考え、それぞれのグループから魅力あるスポットになるようなオブジェクトを提案した。



<飛騨高山 AL の取り組みと成果>

1, 設置するオブジェクトについて

私たち A チームでは、久々野町内の魅力的な場所に「洋服の着せ替え可能なさるぼぼ」を複数設置することを提案した。さるぼぼとは飛騨の方言で「猿の赤ちゃん」という意味で、お産のお守りとして一つ一つ手作りをしている人形である。これらを設置する場所の特色に合わせて着用させる洋服を変え、名前は中学生と考えた「くぐぼぼ」と命名した。

支所・道の駅 着せ替え：デフォルト	久々野駅 着せ替え：駅員服 鉄道マニア（カメラ）	中央公民館 着せ替え：日替わり	総合体育館 着せ替え：ジャージ
			
<ul style="list-style-type: none"> ・久々野のリングを前面PR ・すべてにおいて対応できる衣装 	<ul style="list-style-type: none"> ・高山本線沿線を駅員服でPR ・鉄道マニアが多く撮影スポットが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民、産業、店舗等の衣装で地元を盛り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館には試合が行われ県外からくる選手が多い。

2, 設置する場所について

秋学期に実際に高山市に伺い、地元の中学生たちと話し合って設置する場所を決めた。決め方として、自分たちが設置したい場所からより人が集まりそうな場所へ絞り込み、合計5つの場所へ設置する事とした。

いずれの場所も人の目に触れる機会が多いため、沢山の人が写真を撮りたくなるような「日常」に溶け込んだオブジェクトの設置を試みた。”まるで一緒に生活をしているような一体感”を生み出すことで、SNSを通じた投稿が多くなり、久々野町のPRに繋がると考える。

3, 課題について

仮設置を踏まえて、課題が2点ある。1つ目に、さるぼぼは飛騨地域の名産であるため、久々野町らしさを描きにくいことが挙げられた。前述にもある、さるぼぼに着用させる法被を、久々野町の名産のリンゴをモチーフにしたり、市内を走るJR高山本線の車両引退による集客を見込み、駅員をイメージしたものにするなど、久々野町ならではの話題に着目することで解決を見込んだ。

2つ目に、雨に濡れない場所かつ盗難が発生しない、人目のつく場所での設置が必要であることである。一方で、人の目が届きやすい商業施設に関しては、管理を従業員が行うことになるため、業務の負担がかかる懸念もあり、設置場所の綿密な検討を今後も続けていく。

4, 設置後について

設置しただけでは、十分なSNSの投稿数増加が見込めない。そこで私たちAチームは「くぐぼぼプレゼント企画」を提案した。「くぐぼぼプレゼント企画」とは、設置するさるぼぼのオブジェクトの縦横幅をcm単位で予想してSNSに投稿し、予想数値が当たっていた投稿の中から抽選できるぼぼをプレゼントするという企画である。「くぐぼぼ」をプレゼントする懸賞型にすることで、SNSに投稿することにメリットを感じさせることが可能だと考える。

5, 設置後の効果について

「くぐぼぼ」を設置することによって得られる効果について、2つ挙げられる。

1つ目は地元の住民の活気が高まることであり、「くぐぼぼ」というキャラクターへの親近感と地元の産業のすばらしさを再認識することが大いに可能だと考えられる。

2つ目は、久々野町へ来訪する国内観光客、国外観光客に対してキャラクターがいることで人がいて活気づいていると認識できる。地域のPRできる人の数が少ない久々野町において、親しみやすさを抱かせることにより、負担なく観光者の誘致ができると考えられる。

2021年度プレゼミ X12 クラス チーム：パジャマーズ
2度目の購入に繋がる「パジャマの保証書」の企画提案

多摩大学 経営情報学部 2021年度プレゼミ X12 クラス

発表者：杉山慶恵、小山孝実、三溝凜 担当教員：葛本幸枝、SA：菅原侑士

はじめに（図1参照）

本発表は、2021年度のオンライン多摩祭にて行われたプレゼン大会で有限会社フレックスから出題頂いた「2度目の購入につなげるための保証書を作ろう」というテーマに対し企画提案の経過報告を行うものである。

多摩祭の発表をきっかけに企業とのつながりを深めることができた。残りの期間で企業からもご指導を頂きながら実現可能なものとして完成させることを目標としている。

1. オンライン多摩祭での発表（図2参照）

紙の保証書ではそもそも捨てられてしまう。必要性を感じない。という課題が企業とプレゼミ生への調査からわかった。そこで、捨てられずに実用性がある媒体を検討し多摩産材で作ったハンガーにサシェ（香り）をつけたハンガー型の保証書を提案した。企業からは「斬新なアイデアで面白い！」というコメントを頂いた。

2. 企業との意見交換会から見えてきた課題

多摩祭で提案した案をより実現可能なものにするために企業と意見交換の機会を頂いた。実現可能な案にするために次の3点を考えることが必要であるにご指導を頂いた。①コスト（時間（＝人件費）・配送・保管）②利益（リピーターの獲得・企業としての利益）③マーケティング要素を取り入れた具体的な提案（KPI：重要業績評価指標・販売戦略）今後これらをしっかりと検討して具体的に提案していく。

また、利益だけではなく企業の「想い」も大切であることがわかった。「現実」を見据えながらも「理想」や「想い」も考えて商品を提案することが重要でありアイデアとして求められている。

まとめ

企業からご指導を頂き「ハンガー」に囚われずに新たなアイデアを検討していくことも必要だと感じた。打合せの中でも、木で作った保証書やパジャマ用ドアフックなどの意見を頂いた。今後も考えを止めずに学生ならではの自由で柔軟な発想を大切に試行錯誤していく。そして、経営学・マーケティング要素を取り入れた提案ができるように大学の講義も頑張らなければならないと思った。

会場の皆様からもご意見を頂戴したいのでご協力を頂きたい。

謝辞

ご指導頂きました、有限会社フレックスの皆様にご心から御礼申し上げます。

参考文献

有限会社フレックス：<https://www.pajamaya.com/>

出題テーマ③

「2度目の購入につなげるための保証書を作ろう」



いま、わたしたちの課題の1つに、「2度目のご購入につなげるためにはどうしたらいいか？」があげられます。
新規の顧客獲得には広告が欠かせませんが、そのコストは年々上がってきています。
そんな中、1回でもご購入してくださったお客様を大切に、もう1度ご利用いただきたいと考えています。
そのためにはどのお店で購入したのか？という記憶が必要で、その記憶は感動あってこそ残るものと考えています。

その感動は、届いた箱を開けた瞬間がピークだといわれており、
パジャマ屋は商品と一緒に届けられる同梱物でもその感動を味わってもらおうと常に考えております。

その一つとして、パジャマを永くご愛用いただくための「パジャマの保証書」を同梱し、もう1度ご購入いただけるための仕掛けのアイデアを出していただきたいと思います。

課題前提条件

楽天に2001年1月に出品し、20年が過ぎました。今では、楽天・Yahoo!・Amazon・本店と展開。

前期（2021年6月決算）は、注文数約2万5千件、売上げ金額は約4億円。

お客様の平均単価は16,000円。

ギフトのご利用が70%。

現在、ご購入者の88%が1回のみご購入のお客様。

買い替えの時期は3年と考えているが、洗い替え、季節ごとのパジャマ、贈り物など毎年何らかの形でご利用いただけると嬉しい。

いろんなお客様とのタッチポイントの1つとして「パジャマの保証書」を作りたい。

パジャマの保証書だったら何を保証するのか？保証書の表、裏を使って捨てられない同梱物に。

→求められるもの（審査基準）

課題の把握、オリジナル性、お客さまの感動を生むようなアイデア力（面白いアイデアをお待ちしています）

図1 有限会社フレックスからの出題内容

（出典：2021年度オンライン多摩祭 HP）

私たちが考えた保証書の課題

- 字が小さく、たくさん書いてある。
- 何が書かれているか理解しにくい。
- 細かく堅苦しい。
- **必要性を感じない。**

提案内容

— 「形状」と「質」を保証するハンガー型保証書—

- **パジャマの形に合わせた木製のハンガー**を保証書にする。
- シリアルナンバーを彫って顧客管理する。
- ポケットを付けて**消臭と防虫効果**のあるサシェを入れる。

パジャマの保証書だったら何を保証するのか？

- オリジナル素材
- こだわりがあつての工夫
- 質の高さと高い技術力
- 生地から縫製までの安心と安全
- 製品に対する機能性や品質
- 耐久性があり、長持ちする

パジャマの「形状」とこだわりの「質」を保証しよう！

**ハンガーのこの部分に
ポケットをつけてサシェを入れる。**

二度目の購入に繋がる仕組み

- **パジャマを使っているときはハンガーが空いてしまう...**
→別シーズンのパジャマを購入して頂きハンガーで保管できる。
(最低：半袖と長袖で2シーズンを見込む。)
- **四季ごとにハンガーのデザインを変える**
例：春=桜、夏=花火、秋=紅葉、冬=クリスマス
→季節ごとに購入してもらって楽しみができる！

他の保証書案

- 保証期間を決め、期間満了まで保管すると割引しよう！？
(例:3年間保管で5%割引)
→一定数には効果がありそう！でも、捨ててしまう人の方が多そう...
- タタの紙ではなく、高級感のある保証書
- 立体的な香り付き保証書にしよう！？
→いくら高級感を出しても捨てる人は捨てる...
- 保証書の代わりにバスボブやアイマスクを入れよう！？
→「パジャマの保証書として何を保証する？」

図2 多摩祭でのプレゼン資料

午後の部
001教室
レジュメ

プラスチック問題の解決に挑む！

～法学部的アプローチを用いた企業

及び個人への働きかけを目指して～

帝塚山大学 法学部3年生
(アドバンスクラス)

1. 自己紹介

- アドバンスクラスの紹介と私たちの紹介をします

2. 取り組みへの経緯

- この問題を取組むに至った経緯を説明します
- これまでの取組みを簡単に説明・紹介します

3. 法的に考えると

- 法学的な観点から考察した私たちの考えを説明します

4. 発想の転換

- 発想を転換して考察して、取組むべき視点を明らかにします

5. 終わりに

- これからの見通しと課題を提示します

多摩地域優良企業取材レポート体験

～多摩 BG 倶楽部会員企業レポート～

報告者：大澤 田中

目的

多摩信用金庫主催「多摩ブルー・グリーン賞」の受賞企業で組織する多摩ブルー・グリーン倶楽部（以下、BG倶楽部、約160社）の会員企業を対象に、学生が企業を訪問・取材し、紹介記事を作成、BG倶楽部のホームページに掲載する。また、取材先企業との交流等も行う。

本プログラムにおいて、受講生は多摩地域の産業や企業に関する知見を得るとともに、取材・記事作成を通じて、企画、情報の収集、分析、編集、表現等の方法を学ぶ。また、多摩地域の優良企業との接点をつくることで今後のキャリア形成に対する意識醸成も図る。

本プログラムは、会員企業の相互理解・連携を促す目的に同倶楽部（事務局：多摩信用金庫）との産学連携プロジェクトとして実施する。

内容

学生が数人のグループを組み、BG倶楽部会員企業を取材し、その企業の特徴を紹介する記事を執筆して、BG倶楽部のホームページにアップすることが中心的な活動となる。

そのために事前学修にて、取材・執筆を実施するための必要な準備を行い、執筆後はその内容を共有し、ふりかえることでより学習効果を高める。

1チームが2社の取材・執筆を担当する。したがって、今年度は合計7社の紹介記事を作成した。取材先はBG倶楽部会員企業の中から任意に決定される。

取材は担当の教員と多摩信用金庫から一名社員が同行し訪問する。あいさつからは学生が主体となって行うため、教員や社員は取材には深く関与しない。



活動実績

活動は以下の企業に伺った

製造業：

株式会社コスモテック（立川市） / 株式会社セキコーポレーション（八王子市） / 日本リニューアル株式会社（瑞穂町）

サービス業：

シーズプレイス株式会社（立川市） / 株式会社ツインキールズ（東久留米市） / 株式会社キャリア・مام（多摩市） / 特定非営利活動法人くにたち農園の会（国立市）

以上の全7社を訪問し、取材、記事の執筆までを行った。記事は多摩BG倶楽部のHPにアップされている。

学びと気づき

特に学びとなったところは情報共有の大切さである。社長とのメールでのやり取りでは取材日の1週間前には取材する内容や、当日の流れ、スケジュールの確認。担当の先生との間では、社長に送るメールの内容の確認、当日までのタスクの期限の設定。チーム内ではタスクをこなすためのスケジュールの共有を欠かさなかった。このことが取材、記事の執筆を順調に進めることにつながったと感じている。

もちろん、取材を通して多くのことを学ぶことができた。取材前の菓子折りのお渡し、名刺交換、取材後の御礼のメールなど社会人としてのマナーや所作を学ぶ機会となった。

このALを通して、仕事をこなすには「準備」と「期限の設定」があつてこそ、予定通りに進められるということを身をもって成功体験に繋げることができ、企業の社長や、多摩信用金庫の方々、多摩大学の先生方など多くの大人が関わるこのALだからこそ普段味わうことができない緊張感を体感しながら仕事に取り組むことができた。

「女性の社会進出を応援する！」

多摩大学目黒高等学校 投資戦略 SG グループ
1年4組 任妍婕
1年4組 能美愛理
1年7組 渡辺真衣
1年7組 高澤愛梨

1.はじめに(課題設定)

まず、私達が「女性の社会進出」について興味を持ったきっかけは、東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗元会長の「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかります」といった発言からです。こういった発言が出る社会的な背景が、女性の社会的な立場を悪くしている、女性の社会進出を妨げている原因ではないかと思ったからです。

この事をきっかけに私達は女性の社会進出の現状について調べ、2015年「女性活躍推進法」が成立したにもかかわらずこのような偏見が残っていること、女性管理職の割合がまだ男性に比べかなり低い水準にとどまっていることなど様々な問題がある事を知りました。

しかしながら、女性がどんどんと社会に進出することのメリットは充分にあると私達は考えます。これまで男性に中心だった職場で、女性の雇用を増やすことで、女性目線の商品を開発することができます。また社内環境を、育児や家事などのしやすさといった観点で再評価し改善することにより、だれもが働きやすい環境となり、それを対外的にアピールをすることもでき、職場に多様性が生まれるというメリットがあります。

こういったことは、私達が社会に出て働く時にも避けることのできない問題だと考え、女性の社会進出について今一度目を向けてみようと思いました。

そこで課題として、男性の育児休暇を普及するにはどうしたらよいか、女性の管理職を増やすにはどうしたらよいかということを考え、まずはそこを解決しようとしている企業について調べることにしました。

2. 日経 STOCK リーグについて

日経 STOCK リーグは、学校教育の場における投資学習の1つのツールとして企画されたコンテスト形式の金融・経済教育プログラムです。2021年度で第22回を迎えます。

「どんな企業の株式を買うか？」について考える中で、社会にはさまざまな種類の産業があることを学び、それぞれが互いに関連しながら経済・社会生活を支えていることを学びます。さらには、株価の動向を予測しようとする中で、景気の善し悪しとは何なのか？政府が景気に対して果たす役割とは何なのか？などをグループで考えます。

そういったことを「株式投資」といったツールを使って学んでいくのが「日経 STOCK リーグ」です。

3. 選定基準

上記1の課題設定から私たちは以下の基準で投資する会社を選定しました。

- ・男性の育児参加や女性の働きやすい職場づくりを重視する性別対立を起こさない会社を第一に選定しました。
- ・男性の育児参加を重視する面では、イクメン企業アワードに基づいて、男性の育児休暇を行う、育児と仕事の両立を積極的に推進する企業を選定しました。
- ・女性の働きやすい職場づくりをする面では、管理職に占める女性の割合、産休育休や時短勤務などのシステムの完成度などから、女性が働きがいを感じる企業を選定しました。

4. 選定した企業

- ・株式会社ヤクルト本社
- ・株式会社ファーストリテイリング
- ・エン・ジャパン株式会社
- ・セブン&アイ・ホールディングス
- ・株式会社ワコールホールディングス
- ・ソニーグループ株式会社
- ・日本電信電話株式会社
- ・花王株式会社
- ・株式会社資生堂
- ・株式会社しまむら

5. 参考とした文献・ウェブサイト

- ・イクメンプロジェクト ウェブサイト

<https://ikumen-project.mhlw.go.jp/project/about/>

- ・PERSOL ウェブサイトより CONFERENCE2021 冬

<https://www.persol-group.co.jp/>

- ・マイナビ ウェブサイトより

女性が働きやすい会社の特徴とは？いきいき働ける企業に転職しよう

<https://mynavi-agent.jp/knowledge/womanwill/377.html>

- ・しまむらグループ ウェブサイト

<https://www.shimamura.gr.jp/>

- ・PRTIMES ウェブサイトより 女性の管理職比率について

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000645.000003176.html>

- ・ヤクルト ウェブサイト

<https://www.yakult.co.jp/csr/work/>

インターゼミDX班 自動運転とスマートシティ

Future Vehicle 自動車産業構造転換	Team Legal 法律/損害保険	Smart Health ヘルスケアDX	ATM-automobile 自動運転と街づくり
細井	鈴木 米澤 井上 辰木	藤原 藤田 寺垣	大高 及川 鹿島

柏の葉スマートシティ
2021.11.12視察・意見交換会
自動運転バス（日本製）試乗



羽田イノベーションシティ
2021.8.5視察・意見交換会
自動運転バス（フランス製）試乗



自動車産業構造の変換点「CASE」とは

千秋


- C: connected** つながる
- A: autonomous** 自動化・自動運転
- S: shared/service** シェアリング/サービス
- E: electric** 電動化

著者にインタビュー：2021/8/12 桑島浩彰氏
2021/10/23 川端由美氏

細井

これから起きること！
“Connected”
現在の技術、法律、思考法では考えられないようなことが起こる

今起きていること
自動化や電動化



世界はすでにCASEに向かって進んでいる。今後没落が囃される巨大な自動車産業だが、EV化とハイブリッドなど環境問題から考えていたのでは日本車業界は手遅れになってしまう。自動車がインターネットに繋がった時、自動車はIoTの“ot”でしかなくなる。テスラは「走るスマホ」とも呼ばれるが、目指す先には何があるのか。いったいこれから、何が起きるのか。

DXや自動運転を活用した生活水準・品質の向上施策（及川輝映）

EU 復興

ESG

地球温暖化

世界の産業を抑えてしまえ

SDGs

脱炭素・EV

日本に勝てないからルールを変えよう

次世代の子供達へ驚くべきで強靭な日本社会の戦略的設計と実現が大事

日本の強みを世界へ発信

IoTで全てのモノがつながり、新たな価値が生まれる社会

インノベーションにより、様々なニーズに対応できる社会

Society 5.0

AIにより、必要な情報が必要時に必要な社会

ロボットや自動走行車などの技術人の可能性が広がる社会

情けない

とにかく

雇用維持第一

とにかくAI

自動運転と日本の社会問題（鹿島 旭恵）

<フィールドワーク>

<日本の社会問題>

- ・少子高齢化による空き家問題
- ・都心一極集中による都心の地価上昇
- ・地域交通の衰退 → コロナ禍でバスの運転手不足

Q. 自動運転やスマートシティで地価は変化するか

<川端由美さん>

- ・流入・流出が多いところは地価が上がる。駐車場の価値が大きく変化する。

<藤沢市スマートシティ課>

- ・藤沢SSTができたことによるSST周辺の地価上昇

<柏の葉スマートシティ>

- ・不動産の価値が上がっているかが不明だが、住民アンケートではスマートシティに住んで良かったと回答している人が多数

★自動運転やMaaS、スマートシティによって不動産の価値はどのように変化していくのか。

★日本が抱えるこのような社会問題は自動運転やMaaSによって解決できるのか。


★慎重派の日本人が新たな技術を受け入れ、活用することができるのか。

自動運転とまちづくり～自動運転の可能性と幸福の多様性からスマートシティを考える

大高ももな

藤沢市デジタル推進室訪問

藤沢市のDX AIロボット FSSTとの関係、、、et



可処分時間が増えても、便利になっても、幸せとは限らない、分からない

スマートシティってホントに必要なのか？

理想 >> 多様性があって多くの人が幸せを感じられるスマートシティ

介護分野におけるDX（藤原 由翔）

介護の現状と課題

- ・人手不足
- ・若い給与水準
- ・不安定な労働時間

DX化により解決

介護のDX事例

- ・センサー
- ・介護ロボット
- ・送迎計画作成の支援
- ・ケアプラン作成の支援と助働

自動運転技術は介護のDX化に役立つか

介護分野における自動運転技術の活用

- ・介護現場での自動運転化→ドライバーが一部の業務に時間を割くことができる（時間配分の改善）
- ・ドライバーの人員削減（人件費削減）など

スマートシティ内の介護などについて

1. Fujisawa カスタイブルームスマートタウン
 - ・高齢者住宅でのエアコンやセンサーの活用により、在宅状況、活動量、睡眠状態などといった入居者情報を収集し、健康に関するサポートのサービスに活用
2. スマートシティ金津若松
 - ・ケアラー用のサロンやアプリの活用により地域での居残、介護意識を高める
3. 柏の葉スマートシティ
 - ・自立支援型介護の推進
 - ・ウォーキングイベントなどで健康を維持（介護というより、ヘルスケアに近い）

介護におけるDX化の流れ

スマートシティとは？

- ・従来のシティと異なり、インフラ自体が判断力と問題解決能力を持っている。
- ・今のインフラの一部、または全てを大量に簡易化したデジタルインフラが変えることで市民生活を向上させる。
- ・ITの技術を社会インフラに融合させ、交通、医療、エネルギーなどの分野と融合させて交通規制や病気の治療、エネルギー配分の最適化を行っている。

DXを活用したヘルスケア (寺垣美南)

フィールドワーク

《柏の葉スマートシティ》

- 無料でスマートウォッチを配布している。運動頻度や消費カロリー、歩数や睡眠のデータを収集している。そのデータをAIで分析し、健康のための具体的なアドバイスをしている。
- 今後は、そのデータからどのような生活をしている人がどのような病気になるのかを分析し、病気の予防につなげていく方針。

《羽田イノベーションシティ》

- はねびよんというアプリがある。スマホのGPS機能を活用し、区内にある施設などをめぐったり、健康関連のイベントに参加したり、健康診断に行くとポイントがもらえる。ポイントを貯めると抽選で景品がもらえる。

分析結果

《個人情報取り扱い》

データの提供者が、データの提供先を選択し、同意した範囲内で利用する「データの個人主義」、事業者がデータを管理し必要な時に他の事業者とデータ連携をする「分散型データ管理」を行う。

MaaSを利用した医療、遠隔診療 (藤田 朱夏)

NPO遠隔医療推進ネットワーク

看護師が患者のもとまで行き、医師とオンラインでつなげることで診療を可能に。

※2021年7月26日インタビュー

MONET Technologies株式会社

医師の乗らない移動診療車が伊那市で社会実装している。車には看護師が同乗し、車の中で診療が可能。

※2021年7月28日インタビュー

MRT株式会社

遠隔診療アプリ「ポケットドクター」マルチタスク車両を活用したオンデマンド医療MaaSをスーパーシティで実証。

※2021年9月2日インタビュー

自動車保険のこれから (米澤 珠巳)

●保険会社が注目する理由

自動車保険は全体の5割を占めている。自動運転によって自動車に搭載する技術や法整備が変わるとしたら自動車保険の構造も大きく変わることになる

●課題

- ①事故の原因調査
- ②円滑な求償を行う体制
- ③2階建ての保険の仕組み

●保険会社の取り組み

- ①実証実験向けの保険
自動運転の実証実験に向けた保険商品
※羽田、柏の葉の自動運転実証実験にも使われている
- ②被害者救済特約
自動車の欠陥やハッキングなどが原因での事故で被害者に法律上の賠償賠償責任がなかった場合、被害者に対しての補償を行う
- ③事故のサポート強化
遠隔サポートやオペレーター対応の強化

●保険会社の将来

事故に備える → 事故を防ぐ

事故の補償 → 事故の補償

事故の監視 → 事故の監視

事故の予防 → 事故の予防

※2021年7月21日 西川博一さんインタビュー
※2021年8月6日 羽田イノベーションシティ
※2021年11月12日 柏の葉スマートシティ

自動運転の現在から日本と海外を比べた結果

鈴木 木

日本	海外 (ドイツ・アメリカ・中国・フランス)
<ul style="list-style-type: none"> ・レベル3 (レベル4実証実験) ・法律整備を検討中 ・国が協力的 (弱) ・自動運転の関心 (弱) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル4 (ドイツ・フランス、他は実証実験) ・法律改正 (ドイツ) ・国が協力的 (中～強) ・自動運転の関心 (強)

自動運転の法律と課題について (辰木 順子)

現状の法律

項目	レベル1・2	レベル3	レベル4	レベル5
運転者	必要	必要	必要	不要
運転者	必要	必要	必要	不要
運転者	必要	必要	必要	不要

今後の課題

車内が無人の状態でも遠隔で運転する場合の道路使用許可を緩和する。
→レベル4の完全無人運転化

AIカメラ作動中！異常行動を検知できる仕組み

自動運転のレベル分けについて

自動運転の倫理面の課題について (井上 敦之)

モビリティ社会像に向けた重点施策

技術開発	交通環境情報・配位技術の研究開発 サイバーセキュリティに対する攻撃侵入検知
交通インフラ整備	自動運転を実現する道路側からの情報提供 各社規格の異なる通信規格を提供するシステム
コネクテッド実装	遠隔監視のみの無人自動移動サービスルーティン化 道路交通の安全確保しながら規制の合理化
プラットフォーム構築	官民で保有する関連データ連携のあり方の検討 社会実装におけるデータ品質要件の検討
社会実装	QDD (限定領域) 簡型化、交通関連サービス 自動運転技術に関する「国際基準」の検討

倫理面の課題

EUでAI倫理規制案
2021年4月 欧州委員会は人工知能(AI)の利用を規制する初の法案を提案

道路交通法・道路車両運送法 2020年4月改正
「自動運行車両」という概念を導入 (制度整備は今後)

価値や習慣・文化を尊重した「グロ=カルな倫理基盤」ルール形成の国際議論が必要

●事故責任 (立法の意図と条文解釈上の組織)

自動運転開発を阻害しない為にも、プログラム開発者等、を免責とする理論構成が必要

●個人データの不正利用
差別やプライバシー侵害、事後も審査が必要

●ブラックボックス問題
ディープラーニングの特性から「解読できない」判断の根拠や思考プロセスの発生

午後の部
201教室
レジュメ

コンビニエンスストアの新たな経済・社会的役割 ～暮らしの一部から必要不可欠な存在へ～

2021年度インターゼミ
サービスエンターテイメント班

1. 研究背景と問題意識

新型コロナウイルスの感染拡大と近年における地球規模での温暖化の影響と見られる各種自然災害がきっかけとなり、日本社会全体においては医療や防災の重要性が広く再認識されるようになった。

こうしたなかで、政府主導の具体的な取り組みの一つとしては、2017年7月1日にイオンやセブン&アイ・ホールディングス、ユニー、ファミリーマート、ローソン、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂など7社を災害対策基本法に基づく指定公共機関に指定した。災害発生時、地方公共団体や政府の要請により、7社は全国的な店舗ネットワークなどを生かした支援物資の調達や被災地への供給など災害応急対策に貢献することが期待されている。一方で、平時における防災業務計画の作成や防災訓練・災害予防の実施、災害発生時の応急対策の実施などの責務を負うとされている。

こうした社会的背景を踏まえ、私たちインターゼミサービス・エンターテイメント班は、政府より災害時の指定公共機関に指定された私たちの身近な小売業で、現在ではもはや地域のコミュニティの重要な要素の一つにもなっているコンビニエンスストア（以下、コンビニと略す）に着目した。コンビニは地域の医療や防災の拠点となり得るのか、或いは地域の防災・災害時の拠点として確立するためにはどのような課題があるのか。

このような問題意識をもとに、今後においても自然災害や今般の新型コロナウイルスのような感染症が発生する可能性があるということを前提として、コンビニが我々の「暮らしの一部」から「必要不可欠な存在」となれるのかということについて検討することに至った。

2. 研究目的と方法

2019年6月から経済産業省の主導のもとで開催された「新たなコンビニの在り方検討会」の2020年2月の報告書によれば、コンビニ業界では、近年売上げの伸び悩み、人手不足による店舗運営の困難化、人件費の高騰による運営コストの上昇、フードロスなどの経営課題を抱えており、これまでのコンビニの成長基盤が大きく揺るがされている。他方、電子商取引市場の急激な拡大、オンラインとオフラインを融合した新たな小売業態の登場など、技術革新により小売業そのもののあり方が大きく変容しつつあり、こうした流れにコンビニがどのように対応していくかも大きな課題となっている。

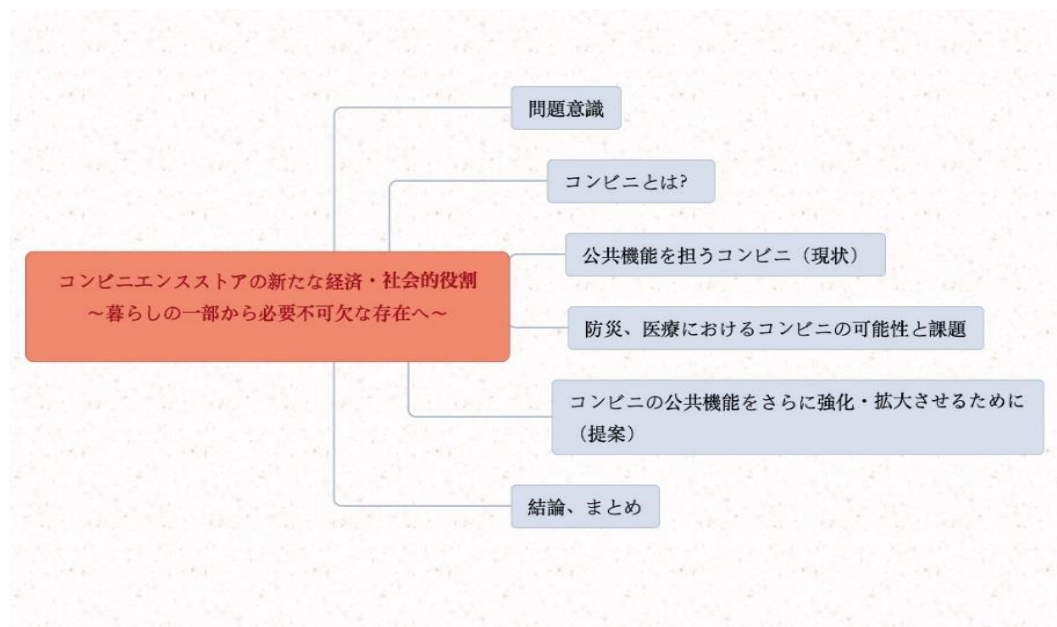
そこで、本研究ではセブン-イレブン、ローソン、ファミリーマートなど大手コンビニ各社に加え、北海道を拠点とするセイコーマートのような地域密着のコンビニに焦点を当てて、関連文献の調査と共にコンビニ各社の店舗の実地調査、およびコンビニの経営者や店舗運営者へのヒアリング、そして大学生を中心とした一般の消費者を対象としたアンケート調査を実施した。コンビニ自体が抱える具体的な課題の整理と取り組み状況並びにその背景と原因分析を行い、まず実現可能な課題解決の方法を検討する。そのうえで医療や防災の観点から、コンビニが我々の「暮らしの一部」から「必要不可欠な存在」となるための方策について学生視点からの提言を行う。

3. 研究内容

本研究の全体像は下図で示した通りである。

まず、上述の問題意識を明確にしたうえで、基本的な事実関係の整理として米国発のコンビニの生い立ちから日本上陸後の進化過程ならびに公共機能についての実態把握を行う。

次に、医療や防災におけるコンビニの可能性と課題を検討するためにコンビニ自体が現在抱える諸問題を整理し、政府・自治体・コンビニ各社・各種民間団体の取り組み状況进行分析する。と同時に、関係者へのヒアリング調査やアンケート調査を実施し、課題解決のための糸口を探る。最後、上記の調査・分析結果を踏まえて、コンビニの公共機能をさらに強化・拡大するための提案を行う。



4. まとめ

私たちインターゼミサービス・エンターテインメント班は、2021年4月からコンビニの新たな経済・社会的役割に注目し、各種文献調査とフィールドワークを実施してきた。その研究成果に基づき、平時のみならず防災や災害時においても社会インフラとしてのコンビニの機能向上、とりわけ医療や防災面での公共機能を強化・拡大するためにはコンビニ業界が現在抱えている諸問題の解決と同時進行で、医療や防災対策を行うことが重要であるとの認識に至った。

具体的な提案は以下の通りである。

- (1) コンビニは、大学と提携することにより、人手不足の問題の解消と防災意識の向上を図ることが高い効果を得ることができると考えられる。大学は有償のインターンシッププログラムの一環として学生をコンビニの店舗に派遣し、コンビニで各種研修（店舗運営や防災災害時の対応など）を受けさせながら職業体験をしてもらう。それにより人手不足の問題の解消（コンビニが就職先にもなり得る）や医療や防災意識の向上といった効果が期待できる。
- (2) コンビニは、子供の貧困問題に取り組む「子ども食堂」等を運営するNPO団体と提携し、食品ロス問題の解消につなげ、平時・災害時を問わず子供たちの寄り合い所や避難所として活用する。
- (3) 地域密着・コミュニティ重視の観点から実際に災害を体験した地域のコンビニが行った活動例を幅広く共有し、業界としての対応ガイドラインを設ける。その際には、北海道胆振東部地震と停電の際に地域を支えたセイコーマートなど、大手コンビニ以外の取り組みも盛り込むことが重要である。

以上

洋服リサイクルプロジェクト

多摩大学目黒高等学校 起業体験 SG
2年 宮川詩南乃/高橋陽愛/金本優人
佐藤祐希/泉凜香/井原康貴/芹沢玲音

1. ビジネスプランの概要
2. ビジネスプランを思いついたきっかけ
3. ビジネスプランの内容
4. 提携企業のメリット
5. 提供方法
6. 広告方法
7. 顧客
8. 企業ヒヤリング

1. ビジネスプランの概要

いらない服を送ったり、コーディネート写真を投稿するだけで、得するポイントがもらえたりSDGsに貢献できるアプリの開発

《アプリの内容》

- ① ユーザーはその日の服のコーディネート写真を投稿すると、アプリ内で使えるポイントが還元される。
- ② ユーザーが提携している企業の新品を着た写真をアプリで投稿することで、新品を店舗より早く安い値段で買うことができる。
- ③ ユーザーは着なくなった服をすぐ送ることができる。それらの服はリサイクルされるので地球環境に良い。

2. ビジネスプランを思いついたきっかけ

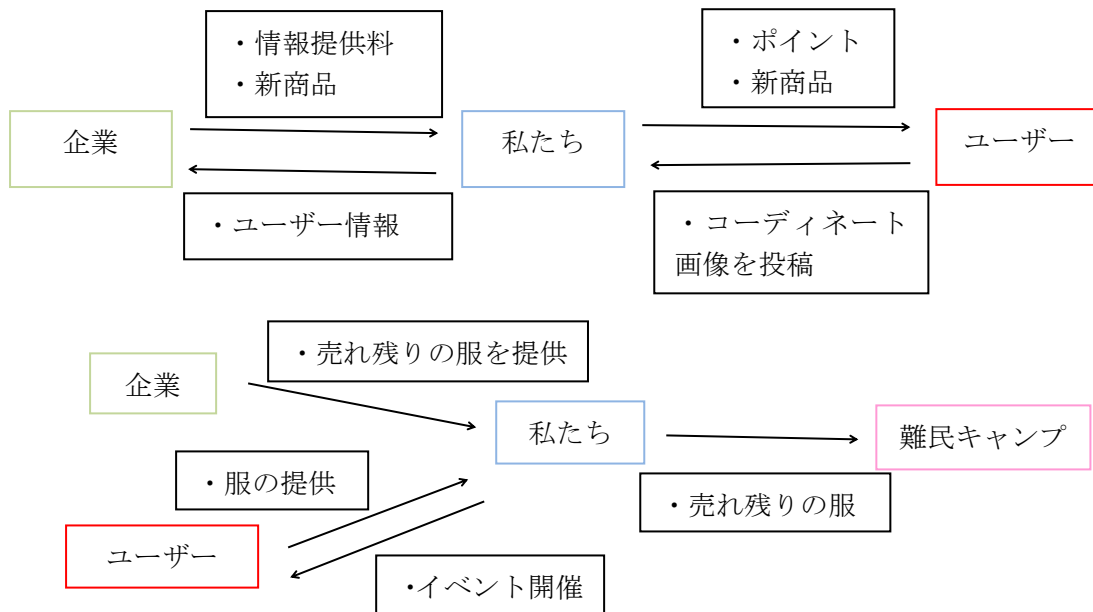
- ① コロナ禍のステイホーム中の断捨離で洋服を捨てるのがもったいないと感じた時に、寄付をしようと思ったが、送料がかかることを知り、お金がかからず手軽に寄付できる方法がないかと思った。
- ② いらなくなった服を捨てるのではなく、リサイクルすることでSDGsに貢献できるのではないかと考えた。
- ③ 上記のことを商売として利益を出していくうえで、どのように「ビジネス」に組み込んでいくかを考えたときに、「情報」という多くの企業が必要とするものを「商品」として取引できるのではないかと考えたから。

3. ビジネスプランの内容

- ① アプリをインストール、**ユーザー情報**(本名、ユーザー名、生年月日、年齢、住んでいる都道府県、身長など)を登録。
- ② ユーザーはその日の洋服のコーディネートやお気に入りの服のコーディネート写真を投稿することで、**ポイントを獲得**できる。
- ③ ポイントはアプリ内で提携している**企業のクーポン券と交換**したり、アプリ内で服を購入する際に使用できる。
- ④ ユーザーはアプリ内で提携している企業の新品を店舗より早く安く購入することができ、その服を着たコーディネートを投稿する。
- ⑤ ユーザーが着なくなった服、企業の売れ残った服を集め、それらの服を安価で売る**リサイクルイベント**を企画・開催する。
- ⑥ 売れ残った服は**難民キャンプへ寄付**する。

4. 提携企業のメリット

- ① 提携した企業はユーザーの投稿により流行りの着こなし方や他社製品との組み合わせ、企業の服の印象がわかり新製品開発への参考となる。
- ② 試作品、新商品へのユーザーの感想や反応がわかり、商品開発の成功の手助けとなる。
- ③ リサイクルイベントへ売れ残り商品を提供することで廃棄経費削減ができる。
- ④ 服のリサイクルによる SDGs 貢献や難民キャンプへの寄付など、企業イメージの向上につながる。



5. 提供方法

- ① AppleStore、GooglePlay でのインストール
- ② アプリ内での新商品の販売
- ③ リサイクルイベントでの古着の販売

6. 広告方法

- ① 提携した企業のホームページ
- ② Twitter、Facebook などの SNS アカウントでの周知

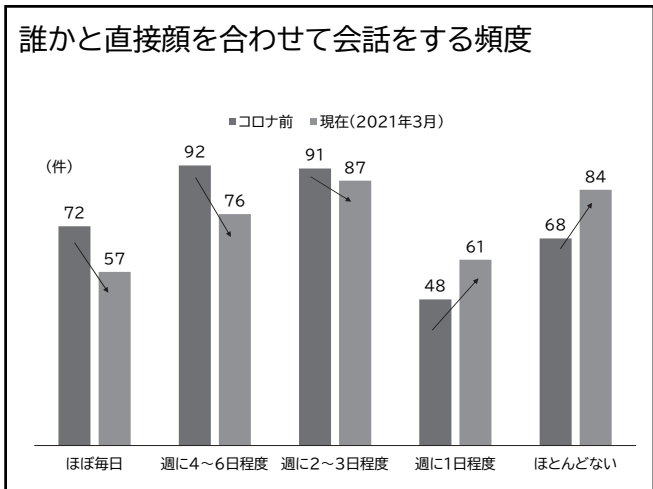
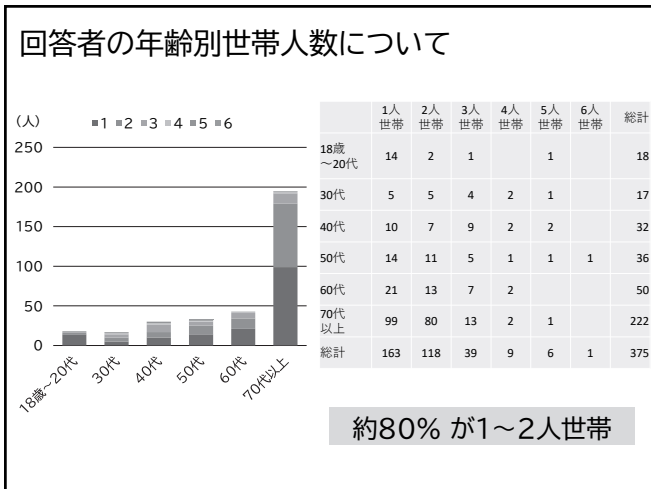
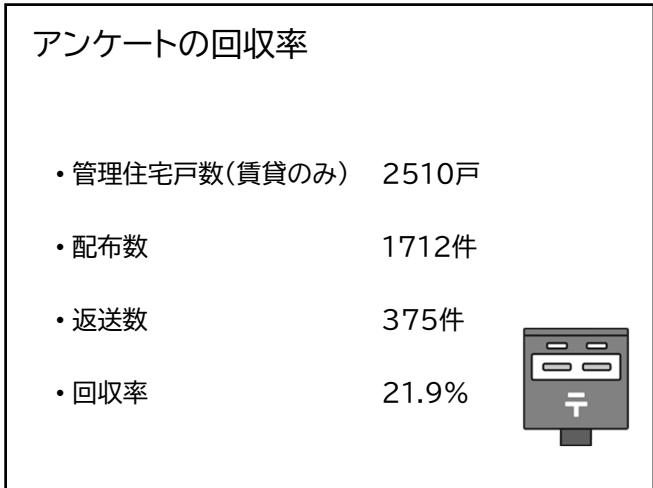
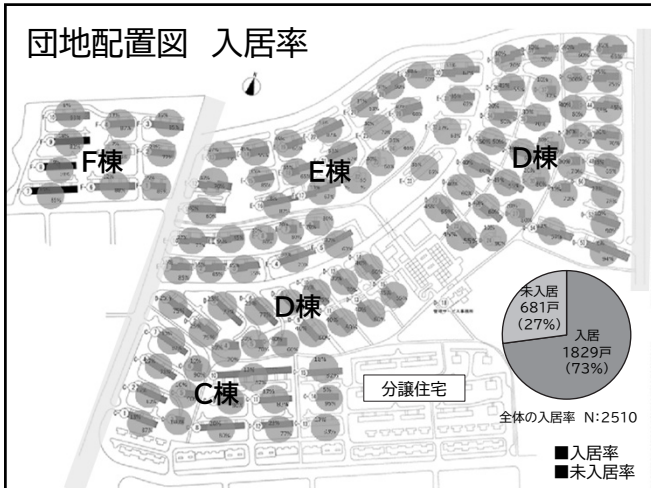
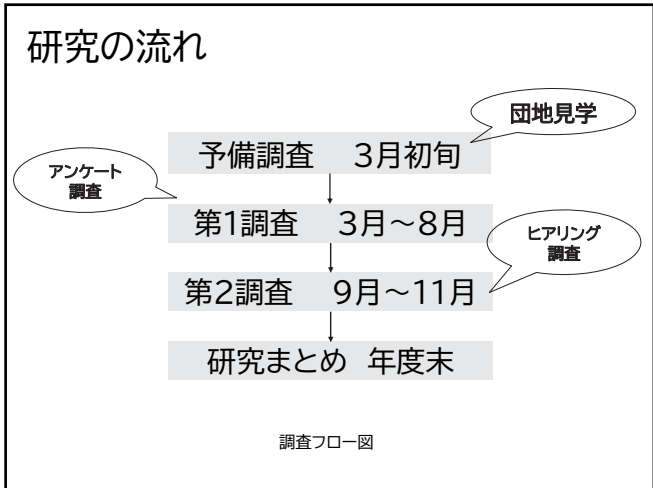
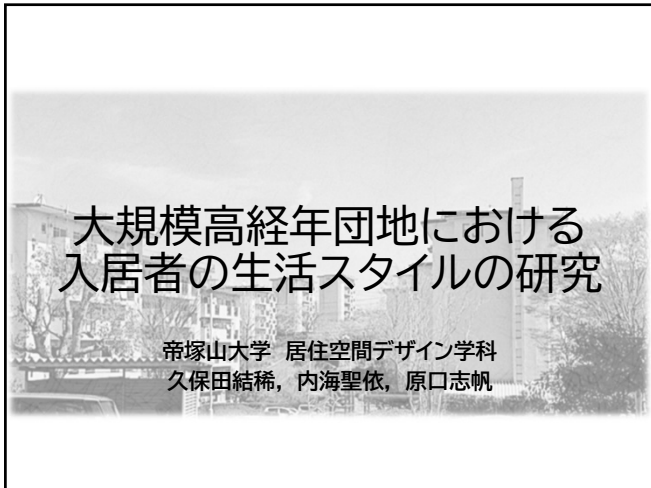
7. 顧客

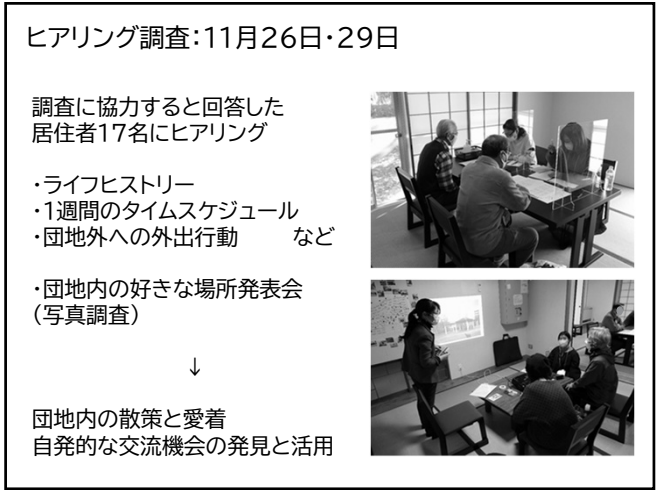
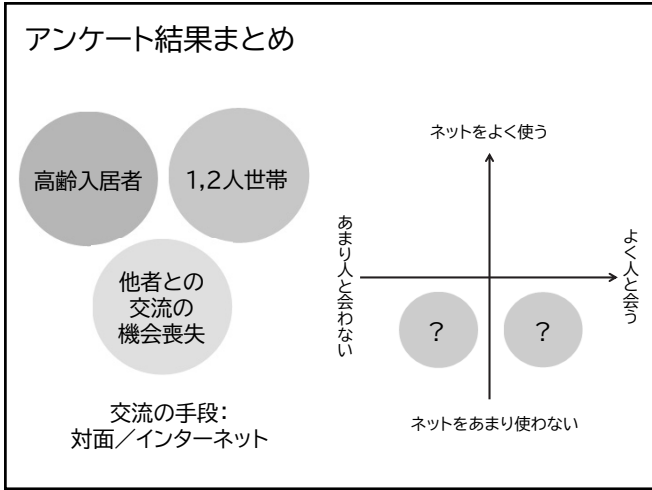
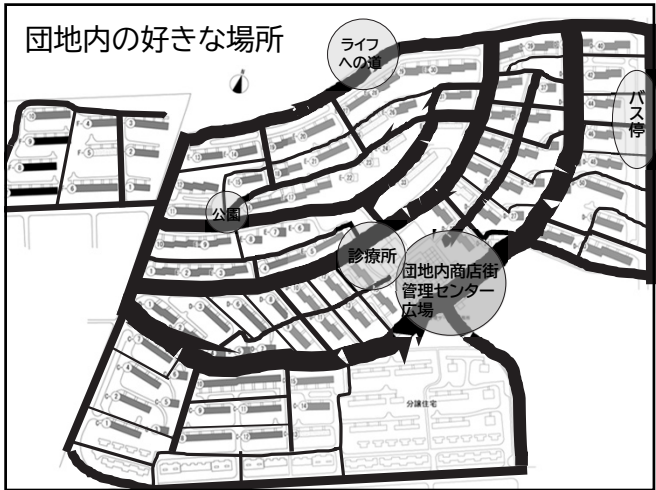
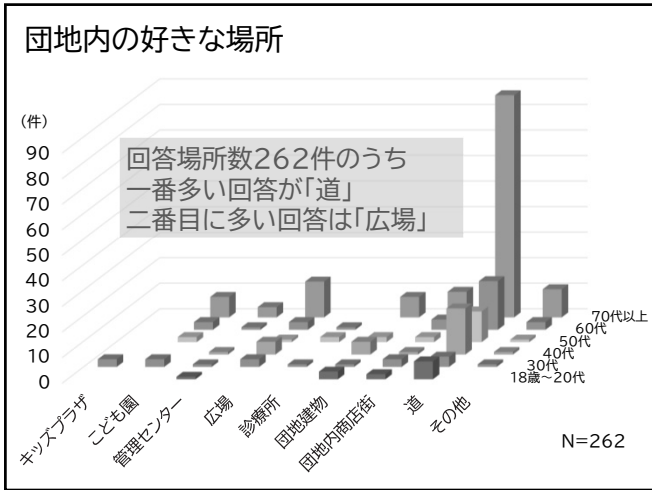
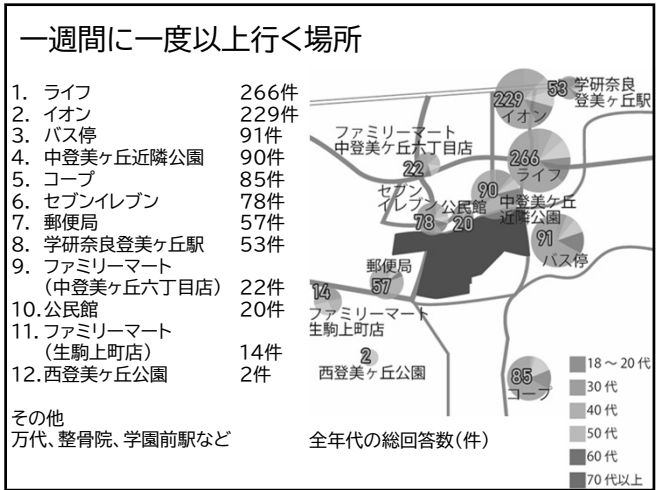
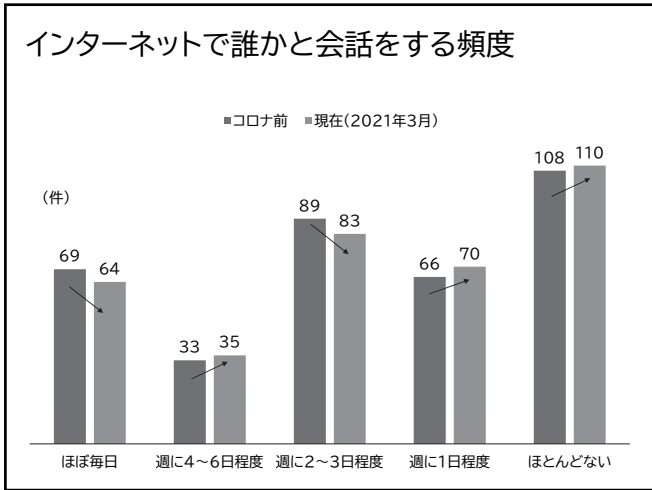
- ① スマートフォンで積極的に服の写真などを投稿している 10 代～20 代
- ② 着なくなった服の処分に困っている人
- ③ SDGs や寄付の活動に興味を持っている人

8. 企業ヒヤリング

11 社に私たちの起業プランを送り、3 社から返信を頂き、以下のようなご意見を頂きました。

- ① 連携起業をエシカルファッションブランドのみにする。
- ② コロナの影響で古着に抵抗のある消費者が以前より増えているのではないかと。
- ③ ユーザーにとってのメリットは多いが、提携企業と私たちの利益が少なく成長が難しい。





飛騨高山地域観光研究

～地域の魅力や新たな資源の発掘と情報発信～

「高山市久々野町におけるフォトジェニックの提案」

－撮影用カメラスタンドの活用－

多摩大学 経営情報学部

飛騨高山アクティブ・ラーニングプログラム Cチーム

白井ほのか 伊藤主野 大澤仁 野中柊希 宮崎祥乃

1 はじめに

多摩大学では、岐阜県高山市久々野町^{たかやましくぐのちよう}にて、2017年度より久々野町まちづくり協議会および飛騨高山大学連携センター、高山市役所久々野支所との協働の下、飛騨高山アクティブ・ラーニングプログラムを年に2回（春・秋）実施しており、2021年度で5年目を迎えることができた。

今年度は、「久々野地域でだれもが思わず写真を撮り、SNS等で発信したくなるようなフォトジェニックスポットづくり」をテーマに、学生から提言を行った。高山市久々野町の魅力的な地域資源（自然、景観、農産物等の特産物、文化など）をよそ者・若者の視点から発見し、それらの地域資源について SNS を活用した情報発信を地元の中学生（久々野中学校）と共同で行った。

学生は18名参加し、学年が縦割りの4チームに分かれて提案を行った。他頁参照。

2 飛騨高山 AL の取り組みと成果

✓ 春学期

春学期は、新型コロナウイルスの影響により、オンライン上での AL を実施した。開催に当たり久々野町の現状を知るべく、Instagram の検索コンテンツ#instakuguno や潜在する文化や地域資源

を分析した。3日間のプログラムにて、私たちCチームでは、撮影用カメラスタンドという、フォトジェニックに適したオブジェクトを提案した。また久々野町の方々と久々野中学校の学生と共に、オブジェクトの設置に適した場所を検討した。

✓ 秋学期

秋学期は10月末から11月にかけて久々野町を訪問した。1日目に地元の方への発表、2日目には久々野町の自然や施設を巡回した。さらに久々野中学校へ訪問し、同中学生3年生との意見交換を行った。さらに、久々野多目的センターにて行った仮設置を踏まえて、学生が提案したオブジェクトの改良案や、設置場所を深めるなど、春学期に提案したオブジェクトの具現化を行った。3日目には、2日間の行程を踏まえブラッシュアップした発表を行った。

3 撮影用カメラスタンド

撮影用カメラスタンドを提案した背景に、学生が久々野町の分析を行った結果、自然そのものが画になると考えた。風景と人物を同じ画角に入れることが可能であり、思い出づくりと、久々野町の圧倒的な自然資源にという最大限の魅力を100%発信できると考えた。

久々野町の方々から四季の移り変わりや高山植物が魅力であることを聞くことができた。[#instakuguno](#)に既に投稿されている写真には、ひまわりや紅葉、雪景色など自然の彩り鮮やかな写真が多かったため、久々野町の潜在のきれいな景色を活用することを考えた。日本の里山の原風景と、訪れた家族やグループ全員を収めることができる。

中学生と設置場所を協議した結果、久々野町を代表する3つの施設である、アルコピアスキー場、久須母橋、堂之上遺跡の3か所に設定し、それぞれの名所の紹介プレートを中学生に製作してもらった。地元の人のみぞ知る名所をPRできるほか、木材が有名というアピールが可能だ。さらに、プレートは長らく後世に残り、中学生の心にも刻まれる。また、紹介プレートをレーザー刻印に加工して、手書きの温もりを保持しながら耐久性を確保。木製スタンドをつくることも検討しており、木工所や中学校での製作により、木材が名産の久々野町で、地産地消を見込むことも可能だ。

4 成長と学び

実際に久々野町を訪れた際、学生の多くは、実際に久々野町を巡回したことで、オンライン上ではわかり得ない、資源の魅せ方を思い浮かべた。今回の発信ツールとして用いているInstagramは、今や多くの若い世代が訪問する場所探しに活用するほど重要なプロモーション手段であり、学生の手腕を活かしてこれからも同活動に励みたい。

今後は、実際にカメラスタンドを設置し、効果を試していく。Instagramへの投稿数や写真を見

て、オブジェクトの設置箇所を増やすこと、あるいは、場所を変えるなどの工夫を重ねる予定である。

5 終わりに

学年が異なる学生で班を構成し、チームで久々野町の魅力を最大限に生かせるよう尽力した。過去に本プログラムに参加した上級生を中心にアイデアの検討やプレゼンなどに懸命に取り組んだ。

最終日のプレゼンを終えた際、「久々野町のことを理解して、本プログラムに臨んでくれた」と話す、久々野まちづくり協議会の会長の言葉に、学生が久々野町への幾分かの貢献ができたのではないかと実感した。事前に岐阜県のことを勉強して得た知識と、実際に見た情報を織りなす相乗効果が結果を生み出し、充足感を得ることができたと確信した。来年度の活動にも励みたい。



↑設置場所について中学生との意見交換

午後の部
101教室
レジュメ

これからの地方都市の中心市街地、コンパクトシティ像

中庭ゼミ地域政策・観光まちづくり研究室

21911016 荒井四海 21911183 篠原洸 21911369 山口誠也 22011083 織田一宏

背景と目的

国内の地方都市では持続可能な都市を目標としたコンパクトシティ戦略が行われている。この戦略は少子高齢化とともに直面する問題の解決を期待されている。

しかしながらコンパクトシティ戦略を行っている自治体が全て成功しているわけではない。そこで私たちは失敗例と言われている行政のどの部分が失敗なのか、また失敗へ導かれた原因、条件の組み合わせなどの検討し、現在コンパクトシティ戦略を行い始めた都市のシナリオの相違を明らかにし、新たなコンパクトシティ像、各都市に適応した街づくりを検討する。

調査方法

コンパクトシティ戦略を行った、又は行っている自治体が何を課題としたのか、目指した着地点を、都市計画マスタープランなどの行政資料から読み取った。次にフィールドワークに向かい、様々な課題や現状については秋田市の担当者への取材を行った。

青森市のコンパクトシティ取材報告

青森市では1999年から雪に強いまちづくりの実現としてコンパクトシティ政策が都市計画マスタープランに書き込まれました。同時に中心市街地再開発、計画地域居住促進を行った

8月、私たちは一般的にコンパクトシテ

ィ戦略の失敗例と言われている青森市へフィールドワークに向かった。駅前には駅ビルと、計画当初に建てたと思われる住宅マンションが存在していた。しかしながら駅周辺を歩くと、駅前商店街はシャッター街と化し、歩いている人も少なく、市営バスも多くて毎時1本の運行路線があるのみ。駅前の中心市街地再開発で建てられた元商業施設「アウガ」はテナントの再集積ができず市役所の窓口機能として残っていた。辛うじて駅前通りには百貨店が残っておりデバ地下と呼ばれる地下の食品売り場は多少賑わっていたものの、平日ということもあり食品売り場以外の店内で客は見かけなかった。青森駅から徒歩15分圏内に生鮮食品を扱ったスーパーマーケットが存在していない。

一方、車で15分ほど内陸側に走ると、浜田地区にはイオンモール、道路沿いのロードサイド店、さらには車で5分の場所にはイトーヨーカ堂を中心としたショッピングモールからホームセンターなどの商業施設が集積しており青森市内の生活機能の中心地とも見て取れた。さらにそこから車で5分ほど走ると高速道路を境に用途計画が途切れ畑が広がる光景であった。先を見据えて計画した戦略、エネルギー問題への対応ではなく除雪という行政サービスの出費を抑えることが目的で戦略に乗り込んだ自治体であったことが良く分かった。

総括

青森市のデータを見ると中心市街地における年間観光施設入込客数が 2005 年度の 70 万人から 2011 年度には 111 万人と 50% 近く増加している。同時に青森駅の利用者数も増加しており、これには新幹線開通の影響が大きいと思われるが、観光資源を含めた青森駅周辺の中心市街地への投資が功を奏したともいえる。

次にコンパクトシティ政策において重要となる居住誘導区域への移住数を見ると、青森市は 1999 年から人口減少が始まっているが、コンパクトシティ政策を施行し 6 年後の 2005 年から 2010 年までの 5 年間で中心市街地定住人口が 3346 人から 3511 人と微増ではあるが増加している。この数字はあくまで中心市街地定住人口であり居住誘導区域全体でみれば定住人口はより増えていると思われる。

まちづくりにおいて成功と失敗の位置づけは難しい。居住誘導区域への移住数、人口減少の抑制、自家用車の依存度を基準とすると、自家用車の過度な依存はまだ見受けられたが、移住数は増えており、コンパクトシティ政策は失敗とは言い切れない。

また、アウガのオープンから現在を見ると駅前中心市街地再開発は失敗と言える。アウガは駅前商業集積を図っていたものであったが 2018 年 1 月に撤退した。

青森市からわかる新しい街の形

青森市が象徴する意味はコンパクトシティと駅前中心市街地開発は別のものになりつつあることだ。青森市の現在の郊外での商業集積は市民の需要により成り立っており、中心市街地は駅前ではなく郊外の SC

やロードサイドショップとなっている。この事象はコンパクトシティの中心地が駅前ではなく車を前提とした SC であっても、可能であることを示しているのではないか。この様な、車にウエイトを置いたコンパクトシティ開発は、EV シフトという、電気自動車など排気ガスを出さない車の普及を助けることにも繋がるだろう。

この様に考えるとコンパクトシティの規模と中心商業集積の関係には、多様な形が考えられる。これまでのコンパクトシティ観を相対化する必要があるのではないか。

オブジェクトと発信 改

—2021年飛騨高山ALプログラム—

2021年12月11日

飛騨高山アクティブラーニングプログラムDグループ

3年：石川光一・細川拓海・藤田功希

2年：王旭森・添田鈴香

1.プログラムの活動内容

1-1 実施日時

春学期：6月13日、6月27日～6月29日（オンライン）

秋学期：10月31日～11月2日（現地）

1-2 活動内容

岐阜県高山市久々野町では、観光客や町民の減少などを課題としていた。そこで、本プログラムでは、「久々野のインスタ映えオブジェクト作成と考案」をテーマとし、課題解決のために活動を行ってきた。

このテーマをもとに、春学期には各班がオブジェクトのアイデアを検討し、発表。提案したオブジェクトは実際にテスト的に設置され、利用度などの調査が行われた。

秋学期には、現地へ赴き地元の中学生や久々野まちづくり協議会の方など多くの地元の方々と交流した。交流に加え、春学期のフィードバックも活かしながらアイデアのアップデートを繰り返した。最終日には、これまでの成果として、より課題解決につながるように改良されたアイデアを発表した。



図1：現地のフォトスポット視察の様子



図2：久々野中学校の生徒との
意見交換の様子

2.発表内容

私たちD班は下図（図3）にある視点を持ち、オブジェクトと課題解決につなぐ提案を考察した。

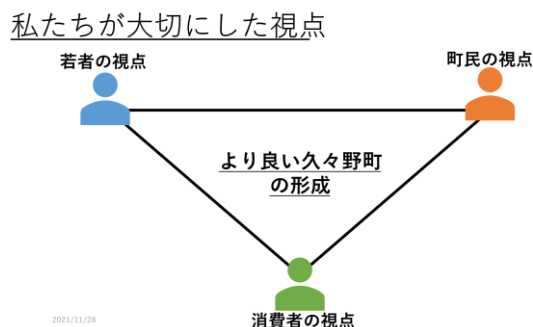


図 3 : D 班が大切にしたい視点

2-1 オブジェクトの提案

D 班では、パネルをリンゴの木に見立て、メッセージカードを張り付けてもらう「久々野町での参加型アート」をオブジェクトとして提案した。

理由は、参加型にすることによって、写真を撮影すること以外に楽しみが増え、魅力的なオブジェクトになると考えたからである。

しかし、テスト運用の結果、様々な改善点が炙り出されたため、地元の中学生と協力し、より良いオブジェクトへと改善を繰り返した。

2-2 我々の問題意識

D 班では、オブジェクトの提案だけではなく、「SNS の戦略」についても提案・説明を行った。

理由は、現在の発信方法を見直したときに、話題性だけではなく、一貫性やメッセージ性などが汲み取れないと感じたからである。そのため、より PR を効果的にするために SNS での戦略や媒体についての説明を行い、実践してもらおうと考えた。

3.さいごに

今回のプログラムを通して、失敗を恐れずに粘り強く行うこと・地域の方々の意見を取り入れる重要性など各メンバーの学びは多くあった。この学びを無駄にせず、自分の成長につなげるよう努力し、今後の課題解決に活かせるようにしなければならない。

4.参考文献

リンクアップ「スピードマスター 1 時間でわかる SNS マーケティング」
技術評論社、2019 年 9 月 27 日

以上

Instagram

Instagramのフォロワーが増えないど
のように増やすべきか



メンバー

159 佐藤匠飛 193 鈴木佑弥
189 鈴木翔平 174 清水寛太

今回の対象は…

地元で20年以上愛されるケーキ屋

NEXT…ケーキ屋のコンセプト

コンセプト・「より良いお菓子で人と文化を育む」

「コンセプトを活かしたまま、さらに飛躍させたい。」
ということでは現存のメニューに加え、
「Instagramに掲載した際に映える・若者ウケの良い話題性、独自性がある」物を加える。
新メニューを作成する。コンセプト内にもある文化についても、様々なメニューに様々な文化（
メニューに沿った文化）を取り入れコンセプトを生かしていくことが出来る。
(ランドマークや特産物など)
お店に関する情報を載せるアカウントを作る。
その他にも、人を育むという点から、簡単に作れるお菓子や、レシピを紹介するアカウントを別に作
成する。
人と文化を育む観点より、お菓子を作りたい人向けのお菓子教室を開き専用のアカウントを作る。

Instagramについて

SNSでは、雑貨のように「専門性・統一感」のないものに関しては、
フォロワーが伸び辛い。理由としては、消費者の求めるものにそぐわない。
Instagramであれば尚更ユーザーの母数、投稿(写真メイン)の数が多いためこそ専門
性・統一感がさらに生きてくる。
ケーキ屋のアカウントであれば、消費者はケーキやスイーツの投稿が見たい。
ケーキ屋のアカウントでスタッフの写真等は必要がない。

Instagramで行うこと

- ・プロフィールを充実させる
- ・投稿する時間を固定する
- ・同じ系統のアカウントに対してアクションを起こす
- ・拡散による割引

Instagramについて

- ・プロフィールを充実させる。

人を見たときに第一印象があるように、Instagramもアカウントの第一印象はプロフィール欄によって変わっ
てくる。
Instagramプロフィールをみて6秒以内に、写真を見ずにブラウザバックする人が10人中約7人もいるそう。
だからこそ、Instagramのプロフィール欄を充実させ、アカウントに興味を持たせることが必要。
必要な情報を書く。しかし、しつこく煩雑にならないようにシンプルにすること。
理由としては、簡単にわかりやすくして、必要な情報を多くのユーザーに素早く届け、興味を持たせることが重
要になってくるからである。

Instagramについて

・投稿する時間を固定する。

投稿する時間を固定する理由は、いいね数には投稿する時間が大きく影響されているから。

伸びやすい時間の一部は

①7時～8時台②17時～18時台③21時～22時台④0～2時台 などがあるがその中で

隙間時間、ちょっとした暇を狙う。朝の通勤通学、昼の長い休憩、20時からの3時間がベストの時間になる。

考えてほしい。意外とこの時間、少しできた暇な時間にInstagramを開くことが多いのではないかな。

通勤通学の電車やバスの待ち時間や乗っている最中や、食事が終わった後にゆっくりする時間、多くの人が利用している。

Instagramについて

・同じ系統のアカウントに対してアクションを起こす。

同じ系統に対してアクションを起こすのは様々な理由がある。

・同系統のアカウント(店舗、個人にかかわらず)に「いいね・Good」を押すことによってプロフィールが気になって見にくる。そこでインプレッションを増やすことができる。

・同系統のアカウント(店舗、個人にかかわらず)を「フォロー」することによってフォローが返ってくる可能性がある。それによってある程度までは相互にフォローしあう。

・アクションを起こすことにより、フォロワーも同じ系統になり、需要と供給にあった質のいいフォロワーが増える。

Instagramについて

投稿、ストーリーでメンションしてくれたお客様限定割引。

投稿、ストーリーでメンションをいただくことが出来れば、多くの人に閲覧していただくことができる。店舗から出なくても、多くの人、お客様の目に止まり、宣伝できるという店側のメリット。

簡単に投稿するだけで、商品を通常よりも安く購入することができるというお客様のメリット。

お互いにメリットのあるフォロー割引を行うことで多くの人に閲覧してもらい、興味を持っていただく。

Instagramについて

Instagramの投稿や、ストーリーにて企業広告を打つ

広告を打つことにより、必ずInstagramのユーザーに対して、必ず目に入るようにできるため、認知を高めることができる。

投稿の際はフォロワーの投稿の間に入り、ストーリーに関してもフォローしている人のストーリーの間に挿入されるので、必ずフォロワーの目に入る。

まとめ

Instagramの特性を理解し、投稿時間、投稿内容の統一。

アカウントを用途に沿って分けること、プロフィールを簡潔にわかりやすく、充実させることにより、見やすくなり、端的にフォロワーに短い時間でインパクトを与え、印象に残りやすくなる。

フォロワー限定メンション割引を行うことで、顧客対象を広げ、顧客を増やすことができる。

以上のことを意識して行うことで、フォロワーを伸ばし、お客様への広告を促進していくことができる。

第13回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

アンケートご協力をお願い

本日はご来学いただきありがとうございました。

ご多用のところ大変恐縮ですが、

アンケートへのご協力をお願い致します。

▼WEB アンケート回答フォーム



<https://forms.gle/jtpzngipuEjZWJEX6>

2021年度AL祭 スクールバス

12月11日(土)

聖蹟桜ヶ丘駅 発	永山駅 発		中学・高校、大学 発	
	中学・高校、大学 行		永山駅 行	聖蹟桜ヶ丘駅 行
25	10 15 25 35 40 50		7	
0 25◎	0 5 40		8	
25◎ 55◎	10(目黒) 10 40 0(目黒バス) 30(目黒バス)		9	30*
25◎ 55◎	10 40		10	0* 30*
25◎	10 40		11	30 55(聖ヶ丘) 55(目黒) 50(目黒バス)
15◎	30 45		12	0 30 45 50 15(目黒バス)
15◎	5(目黒) 25(目黒) 25 30 0(目黒バス) 30(目黒バス)		13	0 10
25◎	40		14	0* 30*
25◎ 55◎	40		15	0* 30*
25◎	10 40		16	0(目黒) 10×2(目黒) 45 0(目黒バス)
			17	0* 30*
			18	0* 40*
			19	

◎印の付いた便は、永山駅經由学校行です。

*印の付いた便は、永山駅經由聖蹟桜ヶ丘駅行です。

多摩大学 教務課
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL 042-337-7113
FAX 042-337-7100

